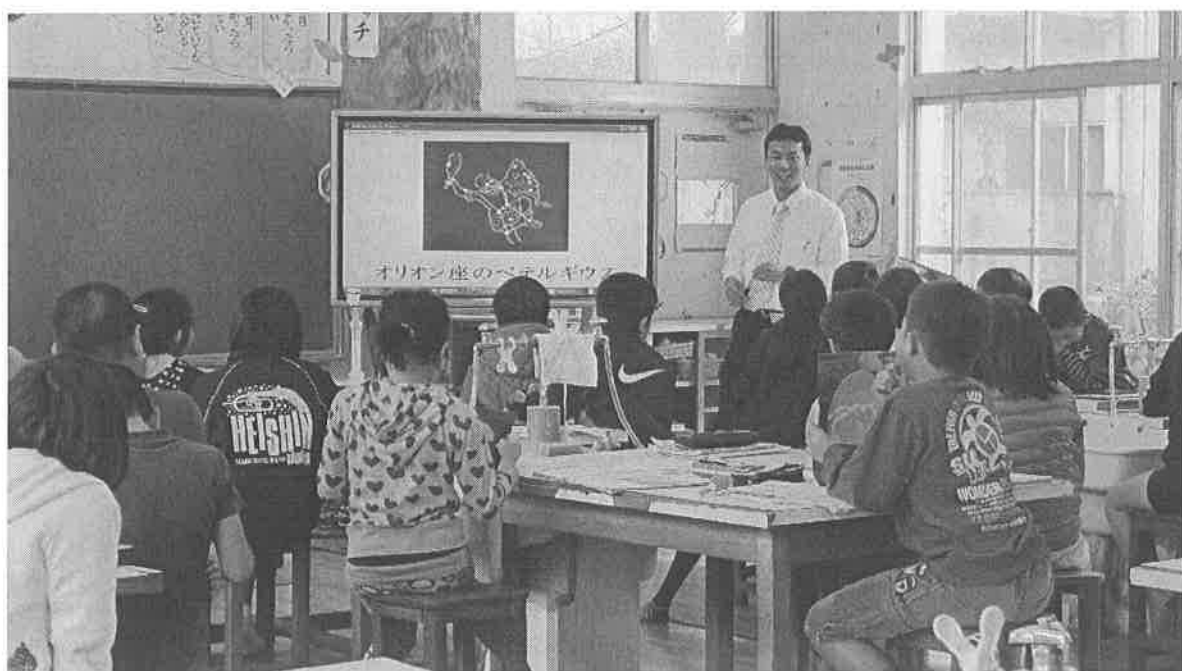


平成 26 年度
石垣市教育事務点検評価報告書
(平成 25 年度事業対象)



導入した電子黒板を使用しての授業

平成 26 年 10 月
石垣市教育委員会

石垣市教育事務点検評価報告書の議会への提出及び公表について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 27 条の規定に基づき、平成 25 年度における教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を付して報告します。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抄)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。



冠鷲プロジェクト「夏休み特別教室」まちなか交流館ゆんたく家

目 次

はじめに	1
【参考】平成 25 年度 石垣市教育委員会主要施策体系	2
I 教育委員会の活動	
教育委員会の会議等の状況	3
《資料》	
(1) 教育委員会の活動状況一覧表	4
(2) 教育委員会会議開催状況一覧表	5
II 教育事務点検評価	
平成 26 年度教育事務（25 年度事業）点検評価の結果一覧表	8
新石垣市立八重山博物館建設に係る基本構想策定事業（沖振交）	9
道徳教育総合支援事業	10
ICT 教育充実事業（情報端末器配備事業）	11
学力底上げ推進支援に係る支援員派遣事業（沖振交）	12
人材育成図書充実事業（ふるさと納税基金図書充実事業）	13
児童生徒援助費	14
児童・生徒選手派遣費補助事業（沖振交）	15
新給食センター開所準備事業	16
学びの基礎力育成支援事業	17
地域交流子育て相談事業（沖振交）	18
オオゴマダラ地域交流事業（沖振交）	19
体験学習助成事業（沖振交）	20
成人の日行事費	21
情報教育充実事業（沖振交）	22
団体負担金補助金	23
ブックスタート事業	24
乳幼児期における読書環境の充実を図る事業	25
文化資産収蔵庫整備事業（沖振交）	26
指定文化財活用事業（沖振交）	27
大浜地区歴史遺産活用事業（沖振交）	28
野底リゾート開発地区における古墓群及び埋蔵文化財等発掘調査事業 ..	29
石垣市史増刷事業費	30
尖閣諸島関係資料収集事業（沖振交）	31
八重山博物館所蔵資料修復及び整理・活用事業（沖振交）	32
伊原間中学校校舎新增改築事業	33
高等教育機関等誘致可能性調査事業（沖振交）	34
III 外部評価委員による総評	35
○石垣市教育事務点検評価実施要綱	37
○平成 26 年度 石垣市教育委員会組織機構図	38

はじめに

本市教育委員会では、

- ① 自ら学ぶ意欲を育て、学力向上を目指すとともに、創造性に富む幼児・児童・生徒を育成する
 - ② 平和で安らぎと活力ある社会の形成者として、郷土文化の継承・発展に寄与し、国際社会・情報社会等で活躍する心身ともに健全な市民を育成する
 - ③ 学校・家庭・地域社会相互の連携及び協力のもと、時代の変化に対応し得る教育の方途を求め、生涯学習社会の実現を図る
- を教育目標に教育行政を推進しています。

その目標を実現する施策として、平成 25 年度は 133 事業を予算計上し、執行してきました。その中から新規及び終了事業は必ず評価の対象とすることとし、それらを含めて主要事業 26 事業を選定し、今年度の評価を行いました。

評価の方法は、各担当課が事業執行概要等を評価シートとして作成し、「点検評価委員会」で内容等を点検しました。その後、学識経験者で構成される外部評価委員が各担当課職員にヒアリングを実施し、事業ごとに評価を付していただきました。その結果、外部評価委員から約 92%の事業が計画通りに執行されているという評価を受けました。

しかし、総合的な意見では、学校教育と社会教育の融合の観点から各課等が更に連携・連動して取り組む体制づくりの構築、各学校に整備した I C T 機器の有効活用や整理された資料・史料のホームページでの公表等活用方法についての提言もいただきました。

また、検討委員会の持ち方等についての指摘もいただきました。

これらの意見を真摯に受け止め、今後の教育行政の推進に反映させるよう努めてまいります。

この報告書は、その結果と教育委員会の活動状況をまとめ、議会に提出するとともに、公表することで市民への説明責任を果たし、教育行政の質の向上を図ることを目的に作成したものです。

市民の皆様の教育行政へのより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

○石垣市教育委員会委員名簿（平成 26 年 4 月 1 日現在）

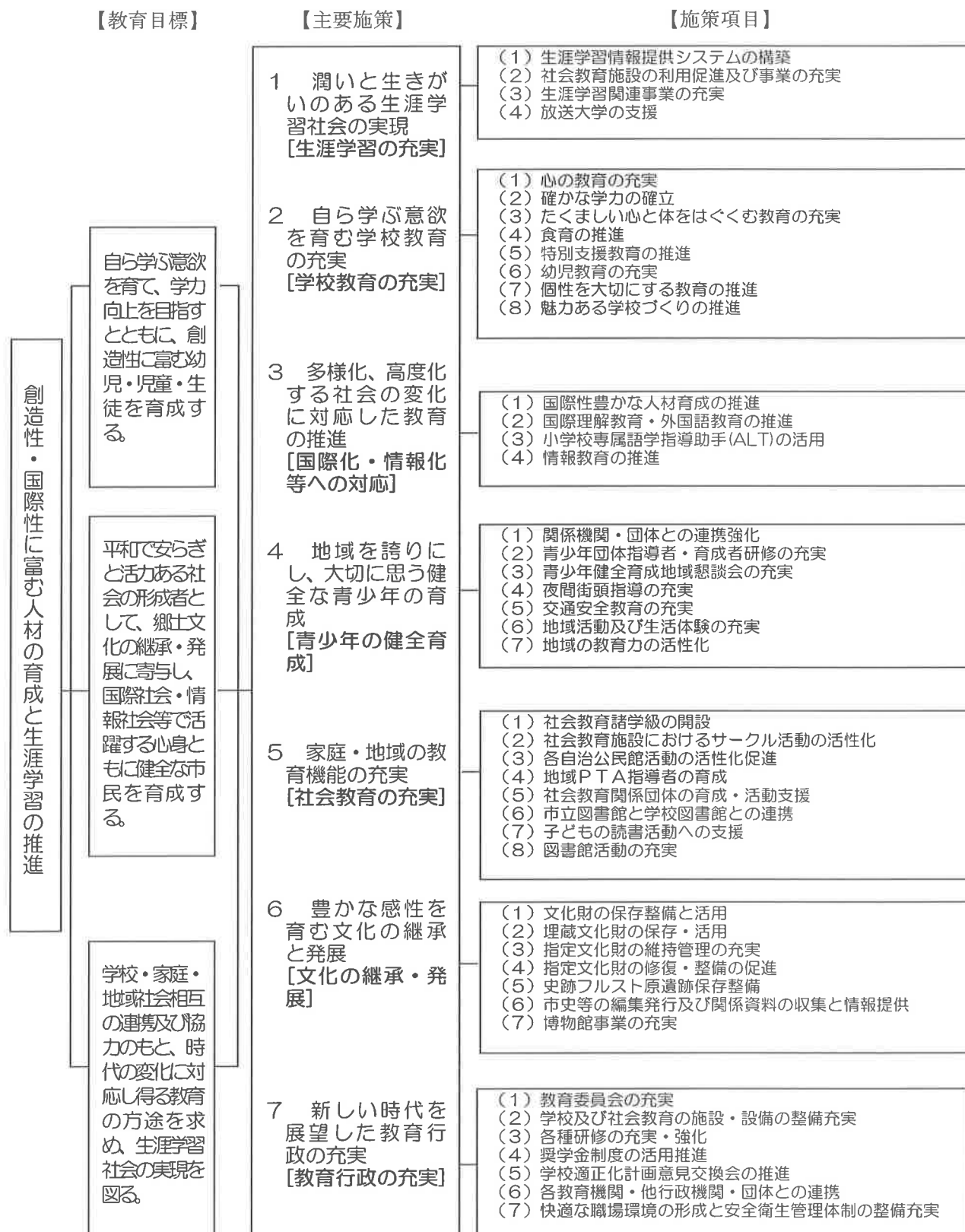
職 名	氏 名	任 期
委員長	石 垣 朝 子	平成 22 年 10 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日 (平成 25 年 12 月 26 日委員長就任)
委員長職務代理者	仲 山 久 紀	平成 25 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日
委員	高 里 正 明	平成 25 年 12 月 19 日～平成 29 年 12 月 18 日
委員	仲大盛 秀 彦	平成 25 年 12 月 19 日～平成 29 年 12 月 18 日
教育長	玉 津 博 克	平成 22 年 10 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日

○学識経験者（教育事務点検評価外部評価委員）

金 城 綾 子	石垣市婦人連合会会長 元石垣市立中学校校長
宮 地 竹 史	国立天文台石垣島天文台所長

【参考】

平成25年度 石垣市教育委員会教育主要施策体系



I 教育委員会の活動

1 教育委員会の会議等の状況

本市教育委員会においては、毎月1回以上の教育委員会の会議の開催と自主研修会を実施し、事務局と連携しながら施策を推進してきました。

さらに、学校訪問や各種行事、視察等を積極的に行うなど、教育行政の推進に努めてきました。

教育委員会の会議については、原則として毎月第4金曜日に「教育委員会定例会」、必要に応じて「臨時会」を開催しています。平成25年度は、定例会が12回、臨時会が5回の計17回開催しました。

また、平成21年度から、会議のほかに自主研修会を原則として毎月第2金曜日に行うこととし、委員自らの課題意識に基づいたテーマを設定して意見交換を行ってきました。学ぶ教育委員のもとにこそ学ぶ仲間が増えるという思いから積極的に学習の機会を増やし、今後も教育委員の資質の向上に努めていきたいと思えます。

さらに、沖縄県市町村教育委員会連合会や八重山地区市町教育委員会協議会の総会・研修会等へ参加し、県内各地区の教育委員と意見交換を行い、教育委員会が直面する課題等について情報を共有し、教育行政について研修を深めることができました。

2 審議状況

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条及び石垣市教育委員会の権限に属する事務の一部委任等に関する規則第2条の規定に基づき、合計70件の議案を審議しました。

3 その他の活動状況

行事・大会等への参加

- ・ 市立小中学校 入学式・卒業式
- ・ 市立小中学校 運動会・学習発表会・研究発表会等
- ・ 市立教育研究所 入所式・研究成果報告会
- ・ 学力向上推進実践報告会（市・八重山地区）
- ・ 教育講演会
- ・ 成人の日の集い
- ・ いしがき教育の日の集い
- ・ 石垣市生涯学習フェスティバル
- ・ 石垣市自治公民館研究大会
- ・ 適応指導教室実践報告会
- ・ 市主催各行事
（石垣島マラソン、石垣市制施行記念行事、石垣島まつり等）

■ 資料

(1) 教育委員会の活動状況一覧表

区分	会 議		その他の活動
	教育委員会	そ の 他	
4月	■ 定例会	■ 沖縄県市町村教育委員会連合会第1回理事会(那覇市)・・・委員長	■ 各小中学校入学式参列 ■ 管外転入教職員歓迎会 ■ 市立教育研究所(前期)入所式
5月	■ 定例会	■ 第58回沖縄県市町村教育委員会連合会定期総会並びに研修会(石垣市) ■ 平成25年度八重山地区市町教育委員会協議会全体会(石垣市)	■ 石垣市学力向上推進委員会総会 ■ 八重山地区学力向上推進委員会総会 ■ 自主研修会
6月	■ 臨時会 ■ 定例会		
7月	■ 定例会	■ 沖縄県都市教育長協議会第1回会議(糸満市)・・・教育長 ■ 平成25年度教育委員会施策に関する地区協議会(八重山教育事務所)・・・委員長	■ 市制施行66周年記念式典 ■ 青少年の深夜徘徊防止・未成年者飲酒防止県民一斉行動石垣市大会
8月	■ 臨時会 ■ 定例会	■ 沖縄県市町村教育委員会連合会第2回理事会(那覇市)・・・委員長	■ 少年の主張八重山地区大会 ■ 新空港開港による交通量増加に伴う安全運転実施要請(バス、レンタカー、タクシー協会) ■ いしがき少年少女合唱団第20回定期演奏会
9月	■ 臨時会 ■ 定例会		■ 市立教育研究所成果報告会
10月	■ 臨時会 ■ 定例会	■ 沖縄県市町村教育委員研修会(那覇市) ■ 第27回九州都市教育長協議会定期総会並びに研究大会(研究部会で石垣市発表:佐賀県嬉野市)・・・教育長、学校指導課長	■ 市立教育研究所(後期)入所式
11月	■ 定例会	■ 沖縄県都市教育長協議会第2回会議(宜野湾市)・・・教育長	■ 学校訪問(大浜中) ■ 学校訪問(わかば幼、川平小中) ■ 学校訪問(大本小) ■ 学校訪問(いのだ幼、伊野田小)
12月	■ 定例会		
1月	■ 定例会	■ 沖縄県都市教育長協議会第3回会議(宮古島市)・・・教育長 ■ 沖縄県市町村教育委員会連合会第3回理事会(那覇市)・・・委員長 ■ 平成25年度市町村教育委員会教育委員・教育長研修会(沖縄県庁)	■ 石垣市成人式 ■ 学校訪問(あらかわ幼、新川小) ■ 小中学生体験学習事業報告会
2月	■ 臨時会 ■ 定例会		■ いしがき教育の日の集い ■ 八重山地区学力向上推進実践報告会 ■ 適応指導教室実践報告会 ■ 学校訪問(あまかわ幼、八島小) ■ 学校訪問(みやなが幼、宮良小) ■ 自主研修会 ■ 八重山地区小中学校音楽発表会
3月	■ 定例会		■ 市立教育研究所成果報告会 ■ 各小中学校卒業式参列 ■ 自主研修会 ■ 石垣市公民館研究大会

(2) 教育委員会会議開催状況一覧

教育委員会の会議は、月1回の定例会議と、臨時に開催する臨時会がある。平成25年度の会議開催状況、付議件数及び内容は次のとおりである。

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

区分	定例会	臨時会	合計
開催数	12回	5回	17回
付議件数	61件	9件	70件
	教育に関する基本的な方針に関すること。 規則、規程、要綱等の制定改廃に関すること。 教育委員会事務局、教育機関(幼稚園・小中学校含む)の人事に関すること。 教育予算に関すること。 附属機関等の委員の任命・委嘱に関すること。		

開催回数	開催日	議案番号	議案名	摘要
第1回定例会	4月19日	議案第1号	臨時代理の承認を求めることについて(石垣市学校図書事務アドバイザーの勤務条件等に関する要綱)	承認
		議案第2号	平成25年度石垣市教育委員会教育主要施策体系の承認を求めることについて	承認
第2回定例会	5月24日	議案第3号	石垣市立登野城小学校校舎建替事業基本計画検討委員会設置要綱の制定について	原案可決
		議案第4号	石垣市立石垣小学校校舎建替事業基本計画検討委員会設置要綱の制定について	原案可決
		議案第5号	石垣市学びの基礎力育成支援事業実施要綱の制定について	修正可決
		議案第6号	石垣市学びの基礎力育成支援アドバイザーの勤務条件等に関する要綱の制定について	原案可決
		議案第7号	石垣市学びの基礎力育成支援事業推進協議会要綱の制定について	原案可決
		議案第8号	石垣市青少年センター教育相談員設置に関する規則の制定について	原案可決
		議案第9号	臨時代理の承認について(石垣市立幼稚園預かり保育条例施行規則の一部を改正する規則)	承認
		議案第10号	臨時代理の承認について(沖縄振興特別推進交付金による石垣市児童生徒の市外派遣に関する補助金交付要綱の一部を改正する要綱)	承認
		議案第11号	石垣市史編集委員会委員の委嘱の承認を求めることについて	承認
		議案第12号	平成25年度石垣市立学校給食センター運営委員会委員の委嘱の承認を求めることについて	承認
		議案第13号	平成25年度石垣市一般会計補正予算(第1号)案提出の承認を求めることについて	承認
第3回臨時会	6月17日	議案第14号	訴えの提起に係る議案の議会提出の承認を求めることについて	承認
第4回定例会	6月28日	議案第15号	石垣市立幼稚園預かり保育条例施行規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第16号	石垣市地域交流子育て相談事業実施要綱の制定について	原案可決
		議案第17号	石垣市地域交流子育て相談員の勤務条件等に関する要綱の制定について	原案可決
		議案第18号	臨時代理の承認について(石垣市立小中学校外国語学習支援員(ALT)の勤務条件等に関する要綱の一部を改正する要綱)	承認

第5回 定例会	7月24日	議案第19号	石垣市学力底上げ推進支援にかかる支援員派遣事業実施要綱の制定について	原案可決
		議案第20号	石垣市学校教育支援員の勤務条件等に関する要綱の制定について	原案可決
		議案第21号	石垣市オオゴマダラ地域交流事業実施要綱の制定について	修正可決
		議案第22号	石垣市小学生・中学生体験学習助成事業実施要綱の制定について	修正可決
		議案第23号	平成24年度石垣市立学校給食センター給食会計歳入・歳出決算の承認を求めることについて	承認
		議案第24号	平成25年度石垣市立学校給食センター給食会計歳入・歳出補正予算(第1号)の承認を求めることについて	承認
第6回 臨時会	8月9日	議案第25号	財産の取得に係る議案の議会提出の承認を求めることについて	承認
		議案第26号	石垣市文化財審議会委員の委嘱の承認を求めることについて	承認
		議案第27号	「石垣市子ども達の歯と口の健康に関する取組みの覚書」締結の承認を求めることについて	承認
第7回 定例会	8月23日	議案第28号	石垣市「八重山の歴史と文化(仮称)」編集・発刊事業実施要綱の制定について	修正可決
		議案第29号	石垣市「八重山の歴史と文化(仮称)」編集委員会規則の制定について	原案可決
		議案第30号	臨時代理の承認を求めることについて(沖縄振興特別推進交付金による石垣市児童生徒の市外派遣に関する補助金交付要綱の一部を改正する要綱)	承認
		議案第31号	臨時代理の承認を求めることについて(石垣市児童生徒の市外派遣に関する補助金交付要綱の一部を改正する要綱)	承認
		議案第32号	石垣市教育事務点検評価委員会外部評価委員の委嘱の承認を求めることについて	承認
		議案第33号	平成25年度石垣市一般会計補正予算(第2号)案提出の承認を求めることについて	承認
第8回 臨時会	9月2日	議案第34号	市指定文化財宮良浜川原のヤラブ(テリハボク)並木に係る建議書について	文化財指定に向け 取り組む
第9回 定例会	9月24日	議案第35号	財産の取得に係る議案の議会提出の承認を求めることについて	承認
		議案第36号	石垣市教育委員会委員長の選任について	高木健 選任
		議案第37号	石垣市教育委員会委員長職務代理者の選任について	仲山久紀 選任
第10回 臨時会	10月21日	議案第38号	財産の取得に係る議案の議会提出の承認を求めることについて	承認
第11回 定例会	10月31日	議案第39号	石垣市社会教育委員に関する条例の一部を改正する条例の議会提出の承認を求めることについて	承認
		議案第40号	石垣市立学校職員の自家用車の公務使用による交通事故処理要綱の制定について	原案可決
第12回 定例会	11月27日	議案第41号	石垣市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則について	修正可決
		議案第42号	平成26年度石垣市立幼稚園園児募集要項の承認を求めることについて	承認
		議案第43号	石垣市立幼稚園児預かり保育に関する補助金交付要綱の制定について	原案可決
		議案第44号	平成25年度石垣市一般会計補正予算(第4号)案提出の承認を求めることについて	承認

		議案第45号	平成26年度石垣市教育委員会人事異動方針の承認を求めることについて	承認
		議案第46号	平成26年度石垣市教育委員会(幼稚園教諭)人事異動方針の承認を求めることについて	承認
		議案第47号	平成25年度石垣市教育事務点検評価報告書(平成24年度事業対象)の承認を求めることについて	承認
第13回 定例会	12月26日	議案第48号	石垣市教育委員会委員長の選任について	石垣朝子 選任
		議案第49号	石垣市教育委員会委員長職務代理者の選任について	仲山久紀 選任
		議案第50号	石垣市立幼稚園預かり保育条例施行規則の一部を改正する規則について	修正可決
		議案第51号	新石垣市立八重山博物館(仮称)建設基本構想検討委員会設置要綱の制定について	原案可決
		議案第52号	平成25年度石垣市立学校給食センター給食会計歳入・歳出補正予算(第2号)の承認を求めることについて	承認
第14回 定例会	1月30日	議案第53号	石垣市立学校給食センター設置条例の一部を改正する条例についての議会提出の承認を求めることについて	承認
		議案第54号	石垣市立学校給食センター運営委員会規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第55号	臨時代理の承認を求めることについて(学校医の委嘱について)	承認
		議案第56号	平成26年度石垣市学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱の承認を求めることについて	承認
		議案第57号	「「児童生徒の安全の確保をするやいまぬふあー見守り制度」に関する協定」締結の承認を求めることについて	承認
第15回 臨時会	2月24日	議案第58号	公文書公開の可否に関する処分に係る異議申立に対する決定について	承認
		議案第59号	平成26年度教育委員会学校関係職員(幼稚園教諭等)定期人事異動の内示の承認を求めることについて	承認
		議案第60号	平成26年度県費教職員人事異動内申の承認を求めることについて	承認
第16回 定例会	2月28日	議案第61号	平成25年度石垣市一般会計補正予算(第6号)案提出の承認を求めることについて	承認
		議案第62号	平成26年度石垣市一般会計予算(教育予算)案提出の承認を求めることについて	承認
		議案第63号	平成26年度石垣市立学校給食センター給食会計歳入・歳出予算の承認を求めることについて	承認
		議案第64号	臨時代理の承認を求めることについて(石垣市「八重山の歴史と文化(仮称)」編集委員会規則の一部を改正する規則)	承認
第17回 定例会	3月27日	議案第65号	平成26年度教育委員会事務局・教育機関(学校を除く)定期人事異動内示の承認を求めることについて	承認
		議案第66号	石垣市子ども若者相談員設置に関する規則の制定について	原案可決
		議案第67号	石垣市青少年センター設置条例施行規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第68号	石垣市子ども・若者支援地域協議会設置要綱の制定について	原案可決
		議案第69号	石垣市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程について	原案可決
		議案第70号	臨時代理の承認を求めることについて(琉球大学サテライト・石垣キャンパスの設置及び運営に関する協定の締結について)	承認

II 教育事務点検評価

平成26年度教育事務（平成25年度事業）点検評価の結果一覧表

主 要 施 策	事 業 名	担 当 課	内部 評価	外部 評価	ページ 番 号
1 生涯学習の充実	新石垣市立八重山博物館建設に係る基本構想策定事業（沖振交）	博物館	○	△	9
2 学校教育の充実	道徳教育総合支援事業	学校指導課	○	○	10
	ICT教育充実事業（情報端末器配備事業）	学校指導課	○	○	11
	学力底上げ推進支援に係る支援員派遣事業（沖振交）	学校指導課	○	○	12
	人材育成図書充実事業（ふるさと納税基金図書充実事業）	学務課	○	○	13
	児童生徒援助費	学務課	○	○	14
	児童・生徒選手派遣費補助事業（沖振交）	総務課	○	○	15
	新給食センター開所準備事業	給食センター	○	○	16
	学びの基礎力育成支援事業	学校指導課	○	○	17
	地域交流子育て相談事業（沖振交）	学校指導課	○	○	18
	オオゴマダラ地域交流事業（沖振交）	学校指導課	○	○	19
3 国際化・情報化等への対応	体験学習助成事業（沖振交）	いきいき学び課	○	○	20
	成人の日行事費	いきいき学び課	○	○	21
	情報教育充実事業（沖振交）	学務課	○	○	22
4 青少年の健全育成	団体負担金補助金	いきいき学び課	○	△	23
5 社会教育の充実	ブックスタート事業	図書館	○	○	24
	乳幼児期における読書環境の充実を図る事業	図書館	○	○	25
	文化資産収蔵庫整備事業（沖振交）	図書館	○	○	26
6 文化の継承・発展	指定文化財活用事業（沖振交）	文化財課	○	○	27
	大浜地区歴史遺産活用事業（沖振交）	文化財課	○	○	28
	野底リポート開発地区における古墓群及び埋蔵文化財等発掘調査事業	文化財課	○	○	29
	石垣市史増刷事業費	市史編集課	○	○	30
	尖閣諸島関係資料収集事業（沖振交）	市史編集課	○	○	31
	八重山博物館所蔵資料修復及び整理・活用事業（沖振交）	博物館	○	○	32
7 教育行政の充実	伊原間中学校校舎新增改築事業	学務課	○	○	33
	高等教育機関等誘致可能性調査事業（沖振交）	総務課	○	○	34

評 価 凡 例	内部 評価	外部 評価
○ 計画通り（達成度100%）	26事業	24事業
△ ほぼ計画通り（達成度70～100%未満）	0事業	2事業
× うまくいっていない（達成度70%未満）	0事業	0事業

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】				
評価年度		平成26年度(平成25年度事業)		主管課
事務事業名		新石垣市立八重山博物館建設に係る基本構想策定事業(沖振交)		
施策 体系	主要施策	1 潤いと生きがいのある生涯学習社会の実現(生涯学習の充実)		
	施策項目	(2) 社会教育施設の利用促進及び事業の充実		
【事業概要】				
(1)対象		市民		
(2)目的		石垣市立八重山博物館は昭和47年に開館し、築40年余となる。平成10年に新博物館建設基本計画を作成したが、今日まで博物館建設には至っていない。そのため、時代のニーズや八重山の現状にあった博物館構想内容及び規模等を検討し、新たに新博物館建設に向けた基本構想を策定する。		
(3)目的達成のための手段(事業内容)		○基本構想策定業務(調査業務)委託 ○基本構想検討委員会設置、開催		
(4)成果目標		沖縄振興特別推進交付金を活用して、新博物館建設に係る基本構想を策定する。基本構想策定後は、基本計画策定等新館建設を推進する。		
(5)根拠法令等		博物館法		
【事業実績・目標】				
25年度実績		決算額	8,211 千円	24年度実績
		決算額	0 千円	
○新石垣市立八重山博物館建設基本構想策定のうち調査業務を実施。業務委託。報告書作成。 ○新石垣市立八重山博物館基本構想検討委員会の設置。委員会を2回開催。				
		26年度目標	予算額	11,405 千円
		○新石垣市立八重山博物館建設基本構想策定事業の最終年度。基本構想の策定。 ○新石垣市立八重山博物館基本構想検討委員会の開催。基本構想案の検討。		
区分	評 価 の 説 明			
【内部評価】				
・昨年度は、調査業務を実施している。今年度は、基本構想策定事業の最終年度となる。委託業務を行い構想策定まで実施する予定である。				
【外部評価】				
・博物館の地域に果たす役割は大である。しかし、検討委員会を立ちあげたが進捗状況が芳しくない。基本構想案にまで早めにたどりつきたい。 ・業務の委託内容が良くわからない。2回の委員会で、何がどこまで検討されたのかが良く見えなかった。				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度		平成26年度(平成25年度事業)		主管課	学校指導課
事務事業名		道徳教育総合支援事業			
施策 体系	主要施策	2 自ら学ぶ意欲を育む学校教育の充実[学校教育の充実]			
	施策項目	(1) 心の教育の充実			
【事業概要】					
(1) 対象		本市児童生徒(事業委託校:石垣市立真喜良小学校)			
(2) 目的		本事業を通して、全教科等の中で道徳教育や道徳の授業についての理論研修を進め、児童の実態を踏まえた重点的な実践を行うために体験活動を活かした道徳の時間の工夫及び家庭・地域・学校の連携による道徳教育の充実をめざす。			
(3) 目的達成のための手段(事業内容)		①外部講師を招聘して道徳教育についての学びを深める ②体験活動をいかした授業の構築 ③児童の実態・課題に即した授業の構築 ④地域ぐるみの「凡事徹底」を推進する(まきらっ子10のキラリ)			
(4) 成果目標		事業委託校である真喜良小学校において道徳的实践力を高めることを目指し、道徳の授業改善に取り組む。			
(5) 根拠法令等		道徳教育総合支援事業 公募要領 道徳教育総合支援事業 委託要項			
【事業実績・目標】					
25年度実績		決算額	223 千円	24年度実績	決算額 千円
☐ 理論研究 ・学習指導要領について ・道徳教育と道徳の時間について ・総合教育センターの主事を招聘し、理論研究、出前授業を実施 ・道徳的实践力を高める授業づくりについて ・道徳の評価について ☐ 道徳の公開授業 ・年間3回、授業参観で全学級が道徳の授業を保護者に公開					
		26年度目標	予算額	543 千円	
		☐ 地域に根ざした創意工夫ある道徳教育の取組 ・道徳教育における優れた実践者の招聘 ・キャリア教育と連携した道徳教育の推進 ☐ 道徳教育に係る保護者・地域の連携 ・学校通信、学級通信、ホームページ等での共有化 ・道徳の授業公開(年3～5回) ☐ 地域の実態や課題に応じた特色ある道徳教育			
区分	評 価 の 説 明				
【内部評価】					
・平成25年度は、理論研究を進めながら、実態に応じた指導の工夫や資料の工夫を行った。また、道徳の時間の充実を図るため豊かな体験を生かした取組を行うほか、家庭地域と連携した取組を進めるため、道徳授業の公開を通して共に取り組む体制づくりをした。 ・平成26年度は、道徳の時間の指導計画を見直し、児童の心にひびく発問や地域教育資源を活用した授業の展開を工夫し、学校と家庭の連携を強化する。					
【外部評価】					
・道徳的实践力を高めるために理論研究や公開授業等を計画的に行ってきた様子が分かる。次はせっかくの委託校なので学校や地域の特性(この地域が他地域と異なる面)等を見定め行政と学校が一体となって進めて欲しい。 ・難しい課題であるが、努力され取り組まれている。対象校の成果を、全市の学校でも共有して欲しい。					

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】				
評価年度	平成26年度(平成25年度事業)		主管課	学校指導課
事務事業名	ICT教育充実事業(情報端末器配備事業)(沖振交)			
施策 体系	主要施策	2 自ら学ぶ意欲を育む学校教育の充実[学校教育の充実]		
	施策項目	(2) 確かな学力の確立		
【事業概要】				
(1) 対象	市立小学校及び小中学校特別支援学級児童生徒			
(2) 目的	情報端末器(タブレット型PC)を活用することにより、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応えた特別支援教育の充実とICT教育の推進による学力の向上、さらに主体的な活動及び遠隔協働学習を取り入れた「21世紀型スキル」を身に付けた人材を育成する。			
(3) 目的達成のための手段(事業内容)	☐ タブレットPCの購入 ☐ タブレットPC用アプリの購入			
(4) 成果目標	☐ 市立小学校及び小中学校特別支援学級にタブレット型PCを整備する。			
(5) 根拠法令等				
【事業実績・目標】				
25年度実績	決算額	31,832 千円	24年度実績	決算額 千円
☐ タブレットPCの購入 市立小学校及び小中学校の特別支援学級へiPad及びAppleTVを配布 ☐ タブレットPC用保管庫の購入 ☐ タブレットPC用アプリの購入				
			26年度目標	予算額 20,739 千円
			☐ 中学校におけるタブレット型PCの選定と整備を行う。 ☐ 学校ICT支援員を雇用し、各学校・各教科におけるICT器機の活用を図る。 ☐ 講師を招聘しての研修会を行うことで活用の充実を図る。	
区分	評 価 の 説 明			
【内部評価】 ・購入したタブレット型PC465台に、沖縄県総合教育センターへインストールする教材アプリの助言をいただき、アプリをインストールして各学校へ配付した。 ・小学校の無線LANが3月に整備され、タブレット型PCを利用できる環境が整ってきた。中学校は、まだ整備されていないので、タブレット型PCを整備した特別支援学級では、利用しにくい面がある。				
【外部評価】 ・児童生徒に21世紀型スキルを身につけさせる一端として重要な整備事業である。多額の予算を伴う事業だけにそれに見合う活用も心がけて欲しい。特に多くの教職員が活用出来るよう研修に力を注いで欲しいものである。 ・機器の導入、整備はできているが、活用面ではまだ不十分である。この種の電子機器はすぐに使い慣れることが重要で、児童生徒、教員が日常的に使えるようにする必要がある。				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度		平成26年度(平成25年度事業)		主管課	学校指導課
事務事業名		学力底上げ推進支援に係る支援員派遣事業(沖振交)			
施策 体系	主要施策	2 自ら学ぶ意欲を育む学校教育の充実[学校教育の充実]			
	施策項目	(2)確かな学力の確立			
【事業概要】					
(1)対象		本市児童生徒			
(2)目的		市街地校の各小中学校における授業等をサポートし、学校の状況に応じた適切な学習や体験活動の支援を行うことにより児童生徒の学力の向上を図り、地域との連携及び家庭への支援活動を行うことにより、学校と地域の信頼関係を深めるとともに、家庭教育の向上と児童生徒の健全育成を図るため、市街地校に学校教育支援員を配置する。			
(3)目的達成のための手段(事業内容)		□各小中学校に学校教育支援員を18名配置			
(4)成果目標		□児童生徒の学力の向上			
(5)根拠法令等					
【事業実績・目標】					
25年度実績		決算額	17,970 千円	24年度実績	決算額 千円
□各小中学校に学校教育支援員を配置 18名の配置(9月～3月まで)					
		26年度目標	予算額	44,390 千円	
		□各小中学校に学校教育支援員を配置 20名の配置(4月～3月)			
区分	評価の説明				
【内部評価】 ・支援員の配置により、児童・生徒の個別指導の充実が図られるようになった。具体的には、教室に入りきれない児童・生徒の支援、学習に遅れのある児童・生徒への放課後補習により、学習の充実を図っている。 ・市立小中学校のほとんどの学校で、支援員を希望しており、増員と予算の確保が必要である。また、学校教育支援員は、1日6時間、週29時間の勤務形態を取っているが、学校現場からは、フルタイムを希望する声が大きいため、勤務形態の変更を検討する。 ・支援員を有効に活用するための研修会を行ったり、支援員を活用している先進校の視察及び講師を招聘しての講演会を実施し、活動の充実を図る。					
【外部評価】 ・確かな学力の定着は、学習の基礎基本の定着と学習を支える力の育成が大事である。とりわけ本事業は、学校の必要に応じた学習支援員の配置だが、学校、行政、地域が一体となれば課題に対応した学力の向上が図られる。各学校の学力底上げ推進事業の計画と推進員の活用を明確化し、取組みを強化させたい。 ・学習力、学力向上のために独自に取り組まれ、成果をあげていることは評価したい。経験を踏まえ、さらに継続して取り組んで欲しい。					

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度		平成26年度(平成25年度事業)		主管課	学務課
事務事業名		人材育成図書充実事業(ふるさと納税基金図書充実事業)			
施策 体系	主要施策	2 自ら学ぶ意欲を育む学校教育の充実(学校教育の充実)			
	施策項目	(2) 確かな学力の確立			
【事業概要】					
(1)対象		大浜小学校および全市立中学校9校			
(2)目的		学校の教育課程の展開に寄与するとともに、児童又は生徒の健全な教養を育成することを目的とし、学校図書館の図書の充実を図り、児童・生徒の学習に役立てるとともに学力向上の推進を図る。			
(3)目的達成のための手段(事業内容)		重点配分により大浜小学校へ100万円、大浜中学校へ100万円を割り当てる。その他の中学校8校においては300万円を学校規模(児童・生徒・学級数)に応じて予算を割り当て、図書を購入する。			
(4)成果目標		自然科学分野を重点的に整備するとともに、図書の充実により児童生徒の読書活動への興味、意欲を向上させ、多様な知識の習得と豊かな感性を育む良好な教育環境を整える。			
(5)根拠法令等		学校図書館法			
【事業実績・目標】					
25年度実績		決算額	4,996 千円	24年度実績	決算額 千円
☐ 大浜小学校 1,000,000円 平成25年度末小学校平均蔵書達成率 110% ☐ 大浜中学校 1,000,000円 ☐ 中学校 8校 2,995,663円 平成25年度末中学校平均蔵書達成率 107%		事業該当なし 26年度目標 予算額 500 千円 ☐ 小学校 20校 ☐ 中学校 9校 ☐ 幼稚園 18園 ※ 蔵書率の低い学校を優先に図書購入を行う。			
区分	評価の説明				
【内部評価】					
・単年度のみ事業として人材育成図書充実事業(ふるさと納税基金図書充実事業)で500万円、合計2,133冊の図書を購入することができ、小学校、中学校ともに平均蔵書率のアップに繋がった。今後も人材育成図書充実事業を活用し、蔵書率の低い学校を中心に図書購入を行い、学校図書の充実を図る。					
【外部評価】					
・学校図書館教育のねらいは、学校図書館の機能を発揮し、教育課程の展開に寄与することである。各学校の図書館教育の実態を掴み、貸出冊数と蔵書数を考えながら図書の充実に取り組まれない。 ・ふるさと納税基金を活用して、蔵書率を向上させることができている。自然科学分野にも重点を置いて整備された事は良かった。今後、閲覧率向上など読書に関心をもたせる努力もお願いしたい。また、ふるさと納税の意義を児童生徒に周知することも必要。					

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】			
評価年度	平成26年度(平成25年度事業)	主管課	学務課
事務事業名	児童生徒援助費		
施策 体系	主要施策	2 自ら学ぶ意欲を育む学校教育の充実(学校教育の充実)	
	施策項目	(3) たくましい心と体を育む教育の充実	
【事業概要】			
(1) 対象	石垣市立小中学校に在籍する児童生徒の保護者		
(2) 目的	準要保護児童生徒援助費、へき地児童生徒援助費(修学旅行費)、特別支援教育就学奨励費、へき地学校給食費助成金、第3子以降給食費無償などで保護者へ必要な援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施を図ることを目的とする。		
(3) 目的達成のための手段(事業内容)	《準要保護児童生徒援助費》 ・広く周知するため、全保護者へ学校を通じて制度の案内文を配布し、市広報誌に掲載する。 ・生活扶助基準引き下げに伴う、対象者減にならないよう対策を講ずる。 《へき地児童生徒援助費修学旅行費》 ・保護者負担額が増にならないよう、国庫補助金が減額となっても、保護者への補助額を維持できるよう財政と調整し、予算確保に努める。 《第3子以降給食費無償》 ・2年目となる当該制度のより広い周知を図る。		
(4) 成果目標	《準要保護児童生徒援助費》 ・小学校 470人 中学校 238人の認定。(全国の認定率が14.1%のため、認定率14.5%に設定) 《へき地児童生徒援助費修学旅行費》 ・小学校 17,000円/人 中学校 50,000円/人 《第3子以降給食費無償》※6%の受給率を目標 ・小学校 295人 ・中学校 5人		
(5) 根拠法令等	学校教育法第19条、石垣市就学援助規則、石垣市就学援助事務取扱要領、へき地児童生徒援助費等補助金交付要綱、要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金交付要綱、石垣市学校給食費助成金交付要綱		
【事業実績・目標】			
25年度実績	決算額	121,057 千円	24年度実績
小学校費 65,825,391円 中学校費 55,231,500円			小学校費 55,614,368円 中学校費 50,215,785円
《準要保護児童生徒援助費》()内は対全児童生徒からの割合 ・認定者数 小 516人(16.09%) / 中 252人(15.38%) ・決算額: 小学校 25,578,233円 / 中学校 16,381,662円 《修学旅行費》 ・小学校 17,000円/人 中学校 50,000円 ※国庫補助交付率は、56.15%(国庫補助額: 小 3,169千円、中 9,903千円)であったが財政と調整し、定額補助を行った。 ・決算額 小学校 8,670,000円 / 中学校 26,250,000円 《へき地における食に関する支援事業》 決算額 小学校 23,151,766円 / 中学校 12,282,780円 ※一食当たり 小38円、中41円を全児童生徒に補助 《第3子給食費無償》()内は対全児童生徒からの割合 ・支給者数 小 268人(8.3%) / 中 3人(0.18%) - 決算額 小学校 8,027,156円 / 中学校 104,144円	《準要保護児童生徒援助費》()内は全児童生徒からの割合 - 認定者数 小 466人(14.4%) / 中 230人(13.96%) 《第3子給食費無償化》 ・支給者数 小247人(7.63%) / 中 0人(0%) 《修学旅行費》 小9,792,000円 中25,850,000円		
	26年度目標	予算額	128,067 千円
	小学校費 68,684,000円 中学校費 59,383,000円		《準要保護児童生徒援助費》()内は全児童生徒からの割合 ・認定者数 小 482人(14.8%) / 中 239人(14.6%) 《修学旅行費》 小8,908,000円 中28,250,000円 《へき地における食に関する支援事業》 小23,979,000円 中13,225,000円 《第3子給食費無償》 ・支給予定者数 小 256人(7.8%) / 中 1人
区分	評価の説明		
【内部評価】			
・児童生徒援助費の各事業については、義務教育の円滑な実施を図ることを目的として適切に実施されており、その目的は達成されている。しかし、児童生徒援助費、各事業に係る財源内訳は、修学旅行費、特別支援教育就学奨励費を除き、他事業は、一般財源であり、財政状況から事業を継続して実施するためには、予算面においての調整や、修学旅行費等について補助、交付率の増額など安定的に予算確保し事業を実施する必要がある。			
【外部評価】			
・各学校では、教育目標の具現化を目指し全職員が一丸となって調和と統一のとれた教育の実現に努めている。準要保護援助費・修学旅行費など根っこの部分での援助は大変ありがたい。教育費の負担軽減は今後もぜひ図られたい。 ・補助金の分配だけで終わっているところが残念である。内容についても保護者の意見を聞くなどして、改善を考える必要がある。対象数が多く、大変と思うが、内容についての精査をお願いしたい。			

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】				
評価年度		平成26年度(平成25年度事業)	主管課	総務課
事務事業名		児童・生徒選手派遣費補助事業(沖振交)		
施策 体系	主要施策	2 自ら学ぶ意欲を育む学校教育の充実(学校教育の充実)		
	施策項目	(3) たくましい心と体をはぐくむ教育の充実		
【事業概要】				
(1)対象		石垣市内の市立小中学校、私立学校、県立学校に在籍する児童生徒		
(2)目的		派遣費補助により保護者の負担軽減を図り、子供達を派遣しやすい環境を作る。		
(3)目的達成のための手段(事業内容)		航空運賃の半額を補助する。ただし、補助上限額は以下のとおり。 沖縄本島:5,000円 県外:10,000円		
(4)成果目標		多くの子供達が派遣に行く機会を得ること。		
(5)根拠法令等		沖縄振興特別推進交付金による石垣市児童生徒の市外派遣に関する補助金交付要綱		
【事業実績・目標】				
25年度実績		決算額	12,950 千円	24年度実績
県内派遣…2,294名 県外派遣…203名 補助額:12,950,000円		決算額 6,000 千円 県内派遣…994名 県外派遣…103名 補助額:6,000,000円		
		26年度目標		
		予算額	34,600 千円	
		県内派遣…3,575名 県外派遣…360名 県選抜選手の合同練習に係る宿泊費補助…160泊分		
区分	評 価 の 説 明			
【内部評価】				
・平成25年度は4月1日から事業執行ができ、昨年度と比べて倍以上の児童生徒に対し補助することが出来た。また、派遣に随行する指導者等も補助対象とすることで、派遣がより可能な環境作りを図った。これまで参加していなかった県大会にもエントリーする団体が増えてきており、事業の成果が出てきている。しかし、当初の想定以上に派遣が増えた為、年度末の派遣については予算不足により補助出来ない状態が生じてしまった。今後は、適正な予算確保が課題となる。				
【外部評価】				
・一括交付金を子どもたちが自分の可能性を発揮できる場の拡大及び保護者の負担軽減等有効に活用した。今後想定以上の選手、指導者、引率等で線引きが厳しい派遣も考えられるので、派遣のおおよその基準等を設けて派遣事業環境づくりをして欲しい。 ・事業の範囲が広がり、また指導者への補助もできるようになったことは、評価したい。なお、対象者がスポーツ関係に偏りがちであり、児童生徒の文化活動など幅広い分野に活用されるのが望ましい。また、賞を得ることが目的ではないが、派遣による成果も示して欲しい。				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】							
評価年度		平成26年度(平成25年度事業)		主管課	給食センター		
事務事業名		新給食センター開所準備事業					
施策 体系	主要施策	2 自ら学ぶ意欲を育む学校教育の充実(学校教育の充実)					
	施策項目	(4) 食育の推進					
【事業概要】							
(1)対象		給食受配校の児童生徒					
(2)目的		新給食センターの開所にあたり、備品・消耗品等を購入し、開所に向け準備を行う。					
(3)目的達成のための手段(事業内容)		食器・備品等の購入については、入札を行い業者を決定し、期限内の納品を行わせ、開所に向け準備を行う。また、衛生管理の面から、施設内が汚染作業区域、非汚染作業区域と明確に分離されるため、作業動線を確認するために約5,000食の試運転を実施する。そして、センターの見学等に使用するためパンフレットを作成する。					
(4)成果目標		平成26年4月からの学校給食が、滞りなく開始できるよう業務を進める。					
(5)根拠法令等							
【事業実績・目標】							
25年度実績	決算額	95,137 千円		24年度実績	決算額	千円	
<内訳> ・消耗品費(食器等消耗品、抗菌スリッパ等) 62,706千円 ・印刷製本費(パンフレット印刷) 40千円 ・賄材料費(試運転食材費) 890千円 ・備品購入費(食缶等備品購入) 31,500千円				26年度目標		予算額	100 千円
				<内訳> 新給食センター開所式典費用 ・謝礼金(獅子舞) 40千円 ・消耗品費 10千円 ・食糧費 10千円 ・賄材料費 40千円			
区分	評価の説明						
【内部評価】							
・食器・食缶等を購入するなど準備作業を進めて、平成26年4月に無事開所でき、受配校へ給食を届ける事ができた。							
【外部評価】							
・新給食センター開所準備事業おつかれ様です。パンフレットでセンターのことがよく分かり、給食のメニューも「焼く、むす、あえもの等」にまで広がり、子どもたちの喜ぶようすが見える。しかし、地産地消の問題等克服する課題も少なくない。 ・無事開所でき、4月からスタートでき良かった。 今後はあらたに導入された機器を活用して、給食内容の向上にも努力して欲しい。 地産品の利用率を上げて、児童生徒に給食面からも自分の島の良さを味わってほしい。							

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度		平成26年度(平成25年度事業)	主管課	学校指導課	
事務事業名		学びの基礎力育成支援事業			
施策体系	主要施策	2 自ら学ぶ意欲を育む学校教育の充実[学校教育の充実]			
	施策項目	(6) 幼児教育の充実			
【事業概要】					
(1) 対象		保幼小児童並びに保幼小職員			
(2) 目的		指定市立幼稚園に学びの基礎力育成支援アドバイザーを配置し、小学校校区内の保幼小の連携体制を構築するため支援が必要な施設を巡回することにより、状況の把握及び教育支援活動の充実に努め、学びの基礎力を育むと共に、幼児教育の充実と小学校への円滑な移行を図る。			
(3) 目的達成のための手段(事業内容)		☐ 各施設を巡回し、実態把握及び本事業の周知を図り、交流・連携の促進を図る ☐ 合同研修会及び、幼児・児童交流会の準備及び資料作成 ☐ 保育・授業参観の企画及び調整 ☐ 保育実践への助言及び支援並びに接続カリキュラム集の検証			
(4) 成果目標		石垣市学びの基礎力育成支援アドバイザーを配置し、幼児同士、幼児・児童の交流及び教師・保育士等の合同研修会を開催し、保幼小連携体制の構築を支援する。県外教授を招聘し、接続期カリキュラムの内容を理解し充実に努め、実践または指導に役立てる。前年度同様、土曜日に講演会を開催し、多くの幼児教育関係者が参加しやすい形態にする。			
(5) 根拠法令等		石垣市学びの基礎力育成支援事業要綱 石垣市学びの基礎力育成支援事業推進協議会要綱			
【事業実績・目標】					
25年度実績	決算額	1,199 千円	24年度実績	決算額	千円
☐ 石垣市立まきら幼稚園を拠点園とし、市街地2小学校区内にある保育所・幼稚園・小学校を巡回する。 ☐ 学びの基礎力育成支援事業推進協議会を開催し事業の推進を図る ☐ 全県幼稚園教諭等研修会 基礎力支援アドバイザーによる事業報告発表 ☐ 第1回保幼小連携研修会 ・講演「保幼小連携と子どもの育ちの見取り」 講師：木村吉彦氏(上越教育大学大学院教授) 参加者：144名 ☐ 生活リズム向上リーフレット作成「食べて動いてよく寝よう」 ☐ 石がきっ子接続カリキュラム作成			26年度目標 予算額 1,476 千円 ☐ 第1回保幼小連携講演会 ・講演「育ちと学びをつなぐために ～アプローチカリキュラムの意義とその方法について～」 講師：和田信行氏(聖徳大学特任教授) ☐ 絵本作成「生活リズム向上(仮称)」 ☐ 石がきっ子接続カリキュラム集の検証		
区分	評価の説明				
【内部評価】					
・互恵性のある交流活動を通して、幼児と児童が積極的に関わる様子が見られた。また、教職員による相互参観や合同研修会を通して、幼児及び児童理解が深まった。 ・石垣市学びの基礎力育成支援事業推進協議会を中心に、リーフレット「食べて 動いて よく寝よう」や「石がきっ子カリキュラム集」を作成することができた。 ・接続期カリキュラムの内容理解と実践化 ・家庭との連携を深め、望ましい生活習慣の確立を図る					
【外部評価】					
・保幼小連携体制の構築は誰もが認めるものであり価値ある事業だと思う。基本的な生活習慣からはじまって学習する体制づくりへと接続期カリキュラムの内容充実に努めるとよりよいつながりができるのでぜひ充実させたい。 ・支援事業であるが、活動内容を把握でき、成果も見えていて、熱意が感じられた。					

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度		平成26年度(平成25年度事業)		主管課	学校指導課
事務事業名		地域交流子育て相談事業(沖振交)			
施策 体系	主要施策	2 自ら学ぶ意欲を育む学校教育の充実[学校教育の充実]			
	施策項目	(6)幼児教育の充実			
【事業概要】					
(1)対象		幼稚園児・保護者			
(2)目的		市内の幼稚園5園に相談員を配置し、多様なニーズに対応した育児相談などの地域子育て支援、保育サービスの充実、児童の幼児期の教育に関する相談を実施することにより、地域における幼児期の教育センター的役割を図る。			
(3)目的達成のための手段(事業内容)		・子育ての支援活動における相談事業の実施及び子育て相談情報の発信。 ・子育てに関するゆんたく会および講演会等の開催。 ・幼稚園保育(預かり保育を含む。)に係る補助業務。 ・指定園及びその近隣幼稚園等と連携した事業の推進。			
(4)成果目標		地域子育て相談員を市内3園、農村地区2園の幼稚園に5名配置し、保護者から幼児期の教育に関する相談に応じたり、情報を提供したり、保護者同士の交流の機会を提供したりするなど、地域における幼児期の教育センター的役割を担うこと。			
(5)根拠法令等		石垣市地域交流子育て相談事業実施要綱 石垣市地域交流子育て相談事業運営委員会要項			
【事業実績・目標】					
25年度実績		決算額	3,805 千円	24年度実績	決算額 千円
☐ 地域交流連絡会の開催(園長・職員・相談員・石教委) 1回 ☐ 相談員の担当幼稚園訪問 西部地区17回・新川地区37回、大川地区21回・ 大浜地区12回、東部地区10回 合計97回 ☐ ゆんたく会及びPTA研修会の開催 「親子でよいどん!」「入学に向けての講話」 ※まきら幼・まきら保育園合同研修会(保幼連携) 合計 11回		26年度目標 予算額 5,150 千円 ☐ 石垣市地域交流子育て相談事業運営委員会設置 ☐ 石垣市地域交流子育て相談事業リーフレット作成 ☐ 子育ての支援活動の充実(子育て相談事業) ☐ 子育て相談情報の発信 ☐ 子育て講演会の開催 ☐ 指定園及びその近隣幼稚園等と連携し、事業の推進を図る。			
☐ 相談員による自主研修会 コモンセンス・ペアレンティング 7回 ☐ 教育委員会担当者と相談員との連絡会 3回 ☐ 家庭との連携(お便りの発行) 1回					
区分	評価の説明				
【内部評価】					
・相談員が幼稚園の保育や預かり保育等に係る補助業務を担うことで、園全体がスムーズに保育活動を展開することが出来た。また、保護者から幼児期の教育に関する相談(24件)に応じたり、情報を提供したり、保護者同士の交流の機会(ゆんたく会)を提供したりする等、地域における幼児期の教育センター的役割を担うことが出来た。 ・相談業務をより多くするため、石垣市地域交流子育て相談事業運営委員会を発足し、事業のスムーズな運用と事業内容の周知化を図る必要がある。					
【外部評価】					
・地域における幼児期の教育センター的役割という言葉からいかに内容のある効率的な事業であるかがわかる。現場における幼稚園教諭は1～2名の少人数なので相談員の配置で安定した幼児教育ができるものと思われる。 ・地道な活動であるが、いろいろと努力もされており、成果が見えている。					

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度		平成26年度(平成25年度事業)		主管課	学校指導課
事務事業名		オオゴマダラ地域交流事業(沖振交)			
施策 体系	主要施策	2 自ら学ぶ意欲を育む学校教育の充実[学校教育の充実]			
	施策項目	(7)個性を大切にする教育の推進			
【事業概要】					
(1)対象		本市児童			
(2)目的		奈良県橿原市の昆虫館と連携して、小学校3年生の「チョウを調べる」単元で使用するオオゴマダラに特化した教材と評価の問題を作成する。また、オオゴマダラを温室を利用して育成している橿原市昆虫館へ児童を派遣し、取材と学びの体験交流を行うことによって、日本の最南西に位置する石垣市の地理と気候の特異性を教材化する。			
(3)目的達成のための手段(事業内容)		☐ オオゴマダラの生態と飼育に関する教材を作成 ☐ 児童が橿原市昆虫館で取材活動を行うための派遣 ☐ 昆虫館取材後の学習報告会の開催			
(4)成果目標		オオゴマダラの生態と飼育に関する教材を学校へ配布し、市蝶オオゴマダラの観察学習の充実を図るとともに、橿原市昆虫館で取材と学びの体験交流を行い、日本の最南西に位置する石垣市の地理と気候の特異性を学ぶ。			
(5)根拠法令等					
【事業実績・目標】					
25年度実績		決算額	2,320 千円	24年度実績	決算額 千円
☐ オオゴマダラ教材と評価問題の作成委員会を開催 ☐ オオゴマダラの生態と飼育に関する副教材「オオゴマダラを育てよう」と「観察・飼育ノート」を作成 ☐ 児童が橿原市昆虫館で取材活動を行うための派遣 ☐ 昆虫館取材後の報告会の開催		26年度目標 予算額 2,020 千円 ☐ オオゴマダラの副教材や飼育キットを配布し、観察・飼育を行う。 ☐ 食草となるホウライカガミの苗の普及を含め観察しやすい環境を整える。 ☐ 児童が橿原市昆虫館で取材活動を行うための派遣を行う。 ☐ 昆虫館取材後の報告会の開催			
区分	評価の説明				
【内部評価】					
・オオゴマダラの生態と飼育に関する副教材「オオゴマダラを育てよう」と「観察・飼育ノート」を作成した。平成26年度は、オオゴマダラの副教材や飼育キットを配布し、観察・飼育を行う。食草となるホウライカガミがない学校もあるので、苗の普及を含め観察しやすい環境を整える。 ・11月に奈良県橿原市の昆虫館へ6名の児童を派遣し、取材と学びの体験交流を行った。その後、体験交流の報告会を開催し、体験交流で体験したことを他児童と共有することができた。 ・奈良県橿原市昆虫館への訪問時期や方法等について連携を図ること、またパンナ公園(蝶園)との連携の在り方も検討する必要がある。					
【外部評価】					
・石垣市の市蝶であるオオゴマダラを教材化することは、児童に身近な自然に目を向けさせる等重要な視点である。ただし、児童の派遣事業もそれなりに意義あることではあるが、市指定の研究校(モデル校)をもうけもっと幅広く取り組むことも必要と考える。又、市民憲章の面からも取り組みが考えられる。 ・自分の街や自然について、身近なところから、自ら学び、理解し、親しむことができる事業として評価できる。継続して、全校で展開して欲しい。					

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度		平成26年度(平成25年度事業)		主管課	いきいき学び課
事務事業名		体験学習助成事業(沖縄交)			
施策 体系	主要施策	3 多様化、高度化する社会の変化に対応した教育の推進(国際化・情報化等への対応)			
	施策項目	(1) 国際性豊かな人材育成の推進			
【事業概要】					
(1) 対象		市立小中学校に通う児童生徒			
(2) 目的		他の都道府県等に比べて、本市児童生徒の体験学習の機会が限定されているため「多様な体験学習」を通して、学力の向上とコミュニケーションスキルを学ぶ。			
(3) 目的達成のための手段(事業内容)		沖縄振興特別推進交付金事業を活用し、学校長が推薦する児童生徒の中から参加者を決定。 児童は奈良県で世界遺産めぐりや現地の小学校との交流学习等を行う。 生徒は東京都で東京大学の聴講、学生との意見交換会等を行う。 それぞれ事前および事後学習に参加し、まとめとして市民向け報告会を開催する。			
(4) 成果目標		児童:20人 / 生徒:30人			
(5) 根拠法令等		石垣市小学生・中学生体験学習助成事業実施要綱			
【事業実績・目標】					
25年度実績		決算額	8,497 千円	24年度実績	決算額 千円
【体験学習参加者数】 ◎児童20人(引率6人):10/27~30 奈良県を訪れ、文化遺産見学や奈良市立鼓阪小学校児童との世界遺産学習を含めた交流会等を行った。 ◎生徒30人(引率7人):11/20~23 東京都を訪れ、東京大学大学院での聴講や学生との意見交換会、早稲田大学総長を表敬訪問、国会議事堂の見学等を行った。 ◎市民向け報告会:H26年1月13日開催し、報告書作成		実施なし			
		26年度目標	予算額	7,423 千円	
		【体験学習参加者募集予定数】 ◎児童20人 ◎生徒20人			
区分	評価の説明				
【内部評価】 ・児童生徒とも実際の体験学習では、見学だけでなく本市をプレゼンする機会や、意見交換の場を設けた。 ・参加児童生徒は、事前学習～体験学習～事後学習～報告会を経験する事で、文章構成やコミュニケーション力の向上、学習意欲の高まり、キャリア教育に資する事ができたと考える。 ・次年度は生徒参加者数を20名とし、さらに充実した体験学習の指導を行いたい。					
【外部評価】 ・発達段階に応じ、将来を見つめ自らの生き方を考える力が身に付く「多様な体験学習」である。その場、その場での身につける視点が明確化され、人間関係形成能力等が育つ。学校の要望等を大事にしながら今後とも力を注いで欲しい。 ・国際性豊かな人材育成を謳いながら、事業内容はそれに沿っていないように思える。内容を含め、再検討が必要ではないか。					

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度		平成26年度(平成25年度事業)		主管課	いきいき学び課
事務事業名		成人の日行事費			
施策 体系	主要施策	3 多様化、高度化する社会の変化に対応した教育の推進(国際化・情報化等への対応)			
	施策項目	(1) 国際性豊かな人材育成の推進			
【事業概要】					
(1) 対象		石垣市に在住している者、市内小中高に在籍歴がある者又は本籍のある新成人者			
(2) 目的		成人になったことを記念し、新成人者の新しい門出を市民全体で祝福し、新しい時代を創造する若者を激励する。 また、新成人者が一堂に会し、お互いの近況を報告することで友情を深め、郷土石垣市の大切さを再確認するとともに、成人に至るまで育てて頂いた全ての人々への感謝の場とし、責任と自覚を高める式とする。			
(3) 目的達成のための手段(事業内容)		市長、市議会議長および新成人者あいさつなど、行政の主催する式典と新成人者による実行委員会によるアトラクションなどによる祝賀会の二部構成で実施した。			
(4) 成果目標		参加者数 515名(男性 275名 / 女性 240名)			
(5) 根拠法令等		平成26年「石垣市成人式」実施要項			
【事業実績・目標】					
25年度実績		決算額	234 千円	24年度実績	
市主催の式典を実施すると共に、新成人者による実行委員会を組織し、アトラクションをはじめ20年の「あゆみ」DVD作成及び上映等、祝賀会を開催。 さらに、成人式前(12/31)には地域貢献活動として会場周辺の清掃活動を実施した。				【参加者数】	男性 : 282名 女性 : 284名 合計 : 566名
		26年度目標		予算額	225 千円
				【参加者数】	男性 : 300名 女性 : 300名 合計 : 600名
区分	評価の説明				
【内部評価】					
・年々先細りする予算の中、新成人者はもとより父母をはじめ一般市民、行政関係者など、多くの参加者を一堂に会した事業を実施した事で、郷土に対する誇りと受け継がれてきた豊かな自然や伝統文化を忘れること無く、次代に受け継ぐ素地ができました。 また、地域貢献活動等を行う中で、互いの近況報告を行うなど友情を深めることができた。					
【外部評価】					
・成人になったことを祝福する行事は、目的意識をもたせ自己実現に努力する態度を地域が一体となり育てていることになる。荒れる成人式も報道されるが、将来の石垣市を担う成人者のためにもち方等に工夫が感じられありがたい。 ・恒例の事業となっており、無難にこなした。事業費が謝礼金として使われるだけになっている。創意工夫が、必要ではないか。					

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】						
評価年度		平成26年度(平成25年度事業)		主管課	学務課	
事務事業名		情報教育充実事業(沖振交)				
施策 体系	主要施策	3 多様化、高度化する社会の変化に対応した教育の推進(国際化・情報化等への対応)				
	施策項目	(4)情報教育の推進				
【事業概要】						
(1)対象		市内小中学校				
(2)目的		沖縄振興特別推進交付金を活用し、学校ICT化を促進し、学力向上はもとより児童・生徒、教職員の情報処理スキルアップを図ることを目的とする。また、新石垣空港開港に伴い、観光交流拠点及び国際的知識、能力を備えた人材育成をより強力に推進するため、ICT環境を効果的・効率的に活用、展開し、幅広い人材育成を目指す。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)		石垣市立小中学校の普通教室、理科室、PC(又は視聴覚)室へ電子黒板、書画カメラ、テレビチューナー等、ICT教育環境に必要な機材を整備し、当事業の各種サポートを行う。 石垣市立小学校に対して、これからのタブレット端末の導入を見据えて無線LAN環境を整備及び構築する。既に導入済みのパソコンや電子黒板等を活用できるよう、ICT教育環境を整備し、当事業の各種サポートを行う。				
(4)成果目標		①小・中学校LANの整備学校数を小学校16校、中学校5校、併置校4校に整備を目標 ②電子黒板の配備を255台配備を目標				
(5)根拠法令等		沖縄振興特別措置法(沖縄振興特別推進交付金)				
【事業実績・目標】						
25年度実績		決算額	161,942 千円	24年度実績	決算額	0 千円
【備品整備】 ○電子黒板を284台、書画カメラ及びテレビチューナーを300台整備。 【無線LAN整備】 ○石垣市立小学校と併置校に対して、無線LAN環境を整備し構築。要望が多かった、理科室やランチルームなどでもインターネットに接続できることが可能になった。 【電子黒板開始式】 ○電子黒板の導入開始日に石垣小学校で開始式として、電子黒板を活用した授業を行い、その際に、登野城小学校の校長先生とテレビ電話で、メッセージを贈った。				○全額繰り越し		
				26年度目標	予算額	0 千円
区分	評価の説明					
【内部評価】						
・電子黒板を284台、書画カメラ及びテレビチューナーを300台整備を行い、小学校と併置校においては、無線LAN環境の整備を実施することができた。 無線LAN構築において、当初計画であった中学校の整備については当初見積もりが過小であったことに起因する予算不足のため実施できなかった。今後の課題としては、先行導入した機器、無線LAN環境について、現場での実施検証が必要である。学校現場と連携し、より効率的・効果的な整備となるよう、必要な予算確保が求められる。また、ICT指導員や推進するためのマンパワーを確保することにより、当初計画以上の達成が見込める。						
【外部評価】						
・学校教育において情報活用能力を培うことは、主体的な学習や個別学習の新しい授業形態を創り出す。いち早く電子黒板等を設置したことは学力向上の源となる。一時的な現象にとどまることなく、しっかりと次につなげて欲しい。 ・沖振交を使った効果的な事業となっている。ただ、機器の配備だけに終わっており、児童生徒、教職員が日常的に学校生活の中で自由に使えるようにする必要がある。この種の電子機器は、数年で新規なものが現れるので、早く慣れて使いこなし、活用することが重要である。そのための指導者の人員配置も必要。利用状況の報告が欲しい。						

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】				
評価年度		平成26年度(平成25年度事業)	主管課	いきいき学び課
事務事業名		団体負担金補助金		
施策 体系	主要施策	4 地域を誇りにし、大切に思う健全な青少年の育成(青少年の健全育成)		
	施策項目	(1) 関係機関・団体との連携強化		
【事業概要】				
(1) 対象		沖縄県青少年センター連絡協議会・沖縄県青少年育成県民会議・青少年健全育成市町民会議・石垣市青少年健全育成協議会・全国青少年補導センター連絡協議会		
(2) 目的		各関係機関と連携し、活動することにより青少年の健全育成を図る		
(3) 目的達成のための手段(事業内容)		補助金(負担金)を交付し、活動を強化・支援する		
(4) 成果目標		研修・大会等の開催		
(5) 根拠法令等		石垣市補助金交付規則		
【事業実績・目標】				
25年度実績		決算額	501 千円	24年度実績
		決算額	471 千円	
【補助金】 ☐ 石垣市青少年健全育成協議会 ・「青少年深夜はいかい防止・未成年者飲酒防止」県民一斉行動大会参加 200名 街頭指導参加 270名 【負担金】 ☐ 沖縄県青少年センター連絡協議会 ・会費 ・定期研修会等の開催 4名参加 ☐ 沖縄県青少年育成県民会議 ・会費 ・少年の主張沖縄県大会 1名派遣 ☐ 青少年健全育成市町民会議 ・会費 ・少年の主張八重山地区大会の開催 9名応募 ☐ 全国青少年補導センター連絡協議会 ・会費及び沖縄研究大会負担金 ・沖縄県研究大会の開催(九州ブロック) 1名参加		・「青少年深夜はいかい防止・未成年者飲酒防止」県民一斉行動 ・定期研修会の開催 ・少年の主張沖縄県大会・青少年育成指導者研修会 ・少年の主張八重山地区大会 26年度目標 予算額 471 千円 ・「青少年深夜はいかい防止・未成年者飲酒防止」県民一斉行動 ・定期研修会の開催 ・少年の主張沖縄県大会・青少年育成指導者研修会 ・少年の主張八重山地区大会		
区分	評価の説明			
【内部評価】 ・各関係機関、団体において、当初の事業計画どおり事業を執行することができた。また、事業の実施にあたっては、関係機関が連携、役割を分担し執行がなされ、各大会等の参加者においても、関係機関、地域ボランティア、学校関係者、児童生徒等の参加があり、青少年の健全育成活動の連携強化が図られた。 ・児童生徒への効果的な啓発を関係機関と連携し取り組みを検討する。				
【外部評価】 ・一人一人は何者にも代えがたい存在であり、関係機関の連携・連動で効果が発揮される。様々な行事における市・地区・県の連携はしっかり図られているか考えさせられる。例えば少年の主張等石垣市、竹富町、与那国町のくわしい役割分担や段取り等が知りたいところである。 ・補助事業ではあるが、各団体、事業の内容、成果が十分把握されていない。 活動の支援強化の内容も、具体性がない。				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度		平成26年度(平成25年度事業)	主管課	市立図書館	
事務事業名		ブックスタート事業			
施策 体系	主要施策	5 家庭・地域の教育機能の充実(社会教育の充実)			
	施策項目	(7) 子どもの読書活動への支援			
【事業概要】					
(1) 対象		1歳6ヶ月健診児			
(2) 目的		乳幼児の絵本との出会いを通して、読書に親しむ子どもの育成につなげる。			
(3) 目的達成のための手段(事業内容)		石垣市健康福祉センターでの乳幼児健診の待ち時間を利用して、絵本をその場で読み聞かせ、絵本を直に手渡す。			
(4) 成果目標		対象となっている1歳6ヶ月健診児全員に絵本が行き渡るようにする。			
(5) 根拠法令等		「子どもの読書活動の推進に関する法律」等			
【事業実績・目標】					
25年度実績	決算額	598 千円	24年度実績	決算額	514 千円
・事前の広報宣伝として、4月の「子ども読書週間」に図書館の展示室でブックスタートにおすすめの絵本と読み聞かせの参考資料等約40点の展示を行った。 ・絵本を9タイトル用意し、月に1～2回健康福祉センターの1歳6ヶ月健診児と保護者に読み聞かせを行い、対象児が選んだ絵本を持ち帰ってもらった。 ・絵本と一緒に読み聞かせQ&Aや年齢に合った絵本えらびのポイントなどを載せた「はじめての絵本」のリーフレットを作成し、配付した。 ・4月からスタートし、3月までの間、16回開催し、499冊の絵本を配付した。			昨年度は4月から3月までの間、19回開催し、606冊の絵本を配付した。		
			26年度目標	予算額	404 千円
			今年度は4月から3月までの間、18回開催し、対象児は662人を予定している。		
区分	評 価 の 説 明				
【内部評価】					
・親から好評で、子どもたちも絵本を大事そうに持ち帰っている。 ・また、その場では、図書館に読み聞かせにおすすめの本がもっとたくさんあることや、図書館での読み聞かせや読書活動推進イベントを紹介して、今後の親子のふれあい読書活動につなげるようにしている。 ・一過性ではなく、継続的な乳幼児期における読書環境の整備を図る必要がある。					
【外部評価】					
・一人の人間にいち早く好みの本と対面させることは、人間形成に大きく貢献する。しかも、公共の図書館への誘い等、持続する読書指導や利用指導等、市立図書館のしっかりしたものの見方や考え方等がよくわかる。 ・幼児の頃から書籍や読書に触れる機会をつくるという画期的である。読み聞かせの活動などにも努力され、親の関心も高まっており、高く評価したい事業である。					

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度		平成26年度(平成25年度事業)		主管課	石垣市立図書館
事務事業名		乳幼児期における読書環境の充実を図る事業			
施策 体系	主要施策	5 家庭・地域の教育機能の充実(社会教育の充実)			
	施策項目	(8) 図書館活動の充実			
【事業概要】					
(1)対象		乳幼児とその保護者			
(2)目的		乳幼児期から絵本をふんだんに手にとり、読み聞かせを行える環境を整えるために、乳幼児対象の絵本の蔵書を数多くそろえる。			
(3)目的達成のための手段(事業内容)		毎週土曜日の読み聞かせやブックスタート、読書週間の取り組みや日常の展示等を通して、乳幼児の保護者とその家族を主な対象に、乳幼児期からの絵本の読み聞かせを推奨する。			
(4)成果目標		乳幼児期から絵本に親しむことで、読書人口の増大をはかり郷土の豊かな人材を育成する。			
(5)根拠法令等		図書館法			
【事業実績・目標】					
25年度実績	決算額	1,500 千円		24年度実績	決算額 千円
1歳6カ月対象乳幼児健診時に行っているブックスタート事業で図書館の利用案内と読書指導をうけた親子が、数多く市立図書館児童室をおとずれ、引き続き乳幼児の読み聞かせのために絵本を借りている。それ以外の乳幼児連れの親子も数多く児童室を利用し、貸出し数が増加している。毎週土曜日の読み聞かせ会に参加する赤ちゃん連れの親子が増えている。絵本を1,093冊購入した。				事業無し	
				26年度目標	予算額 500 千円
				引き続き、乳幼児期からの読み聞かせを推奨するために、乳幼児を対象とした絵本を購入し、市民への貸出しに供する。	
区分	評 価 の 説 明				
【内部評価】					
・予算を予定通り執行し、当初計画通りの事業を達成できた。活動目標、成果目標にむけて適正に業務を遂行することができた。					
【外部評価】					
・いろいろな読み物や資料を通して心の栄養とし、自主的に正しい判断力を身につけ人は成長する。ぜひ学校とも連携し読書指導を充実させ、学校指導課とも連携し“家読”及び読書習慣の確立等を充実させたい。 ・ブックスタート事業とよく連携できており、図書館の親子での利用も増加しており、目に見える形で成果をあげている。準備を含め、現場でも人手のかかる事業なので、増員など人的な充実も検討する必要がある。					

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】							
評価年度		平成26年度(平成25年度事業)	主管課	石垣市立図書館			
事務事業名		文化資産収蔵庫整備事業(沖振交)					
施策 体系	主要施策	5 家庭・地域の教育機能の充実(社会教育の充実)					
	施策項目	(8) 図書館活動の充実					
【事業概要】							
(1) 対象		市民					
(2) 目的		市立図書館の4階に7万冊を保管できる収蔵庫を増設、市民サービスの向上に繋げる。					
(3) 目的達成のための手段(事業内容)		平成25年度では3階書庫までの既設エレベータを4階増設部分まで延伸する改修工事を行う。					
(4) 成果目標		当初25万冊を設定し建設、現在蔵書が26万冊余となり収蔵庫を増設し、郷土資料等を保管することにより、次世代へ文化資産を継承することができる。					
(5) 根拠法令等							
【事業実績・目標】							
25年度実績	決算額	23,277 千円	24年度実績	決算額	千円		
建築基準法改正に伴うダブルロック方式と新耐震設計基準に適合した安全性に優れたエレベータに改修。4階まで延伸を行った。			予算なし				
			<table border="1"> <tr> <td>26年度目標</td> <td>予算額</td> <td>70,000 千円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">7万冊保管できる収蔵庫で、貴重な資料を傷めない窒素ガスによる消火設備を設置する。図書館は、海拔2.5mに位置しているが、4階に設置することにより、床までの高さが13mとなり、津波による災害にも備えることができる。</td> </tr> </table>		26年度目標	予算額	70,000 千円
26年度目標	予算額	70,000 千円					
7万冊保管できる収蔵庫で、貴重な資料を傷めない窒素ガスによる消火設備を設置する。図書館は、海拔2.5mに位置しているが、4階に設置することにより、床までの高さが13mとなり、津波による災害にも備えることができる。							
区分	評価の説明						
【内部評価】 ・エレベーターは、新耐震基準設計・ダブルロック方式など新基準を採用しており、関係法令に適合した施設改修であり、障がい者にも対応した施設である。							
【外部評価】 ・市立図書館は学校図書館よりも人間が一生にかかわって生涯に渡って学び続けるための館である。しかし資料や図書は増えつづけ保管にも難がある。この度の災害に対応できる収蔵庫は貴重な資料を次へつなげることができる。 ・懸案事項であったが、計画通り実施できている。貴重な資料もあり、収納、収蔵には引き続き努力をお願いしたい。							

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度		平成26年度(平成25年度事業)		主管課	文化財課
事務事業名		指定文化財活用事業(沖振交)			
施策 体系	主要施策	6 豊かな感性を育む文化の継承と発展[文化の継承・発展]			
	施策項目	(1)文化財の保存整備と活用			
【事業概要】					
(1)対象		市民、観光客			
(2)目的		市民をはじめ、国内外から訪れる観光客等に、本市に所在する指定文化財に対して理解を深めてもらい、活用を図るため。			
(3)目的達成のための手段(事業内容)		☐ 市指定文化財説明板の作成及び設置。説明文は日本語・英語・中国語併記とする。 ☐ 本市に所在する国・県・市指定文化財を紹介する「石垣市の文化財」を作成する。			
(4)成果目標		☐ 市指定文化財説明板の作成・設置(8基) ☐ 「石垣市の文化財」の作成(1,614部)			
(5)根拠法令等					
【事業実績・目標】					
25年度実績		決算額	3,725 千円	24年度実績	決算額 0 千円
☐ 市指定文化財説明板の作成・設置(8基) ①旧登野城尋常高等小学校の奉安殿 ②米為御嶽(いやなすおん) ③仲道の三番アコウ ④パイナカー ⑤宮良浜川原のヤラブ(テリハボク)並木 ⑥赤馬主の墓(あかんましゅーのはか) ⑦旧盛山村跡の御嶽 ⑧吹通川のヒルギ群落 ☐ 「石垣市の文化財」の作成(1,614部)		実施なし			
		26年度目標 予算額 0 千円 実施なし			
区分	評価の説明				
【内部評価】					
・指定文化財説明板は、従来、日本語のみの説明板を作成・設置していたが、近年本市を訪れる外国人観光客が増加していることから、今回新たに英語、中国語による説明文を併記した。「石垣市の文化財」冊子は、平成14年以来作成していなかったが、その後指定された国・県・市指定文化財も多くあり、それらの文化財も新たに紹介するなど内容の充実を図った。本事業で作成した文化財説明板及び「石垣市の文化財」冊子を活用することにより、市民をはじめ国内外からの観光客等に本市の歴史や文化、自然等に対する理解を深めることができる。					
【外部評価】					
・昨今、観光客も増え、又、市民がふるさとを理解する上においても、市指定文化財の活用等は大事である。英語、中国語を併記した説明板等内容の充実を図られたことも高く評価できる。 ・案内板、冊子類の整備が進んでおり評価できる。石垣市全体として、史跡、名所へアクセスするための案内板も整備する必要がある。冊子類の整備充実もされているが、入手の方法などをわかりやすく周知して欲しい。インターネット、ホームページの活用などをお願いしたい。					

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】						
評価年度		平成26年度(平成25年度事業)		主管課	文化財課	
事務事業名		大浜地区歴史遺産活用事業(沖振交)				
施策 体系	主要施策	6 豊かな感性を育む文化の継承と発展[文化の継承・発展]				
	施策項目	(1)文化財の保存整備と活用				
【事業概要】						
(1)対象		市民および観光客				
(2)目的		フルスト原遺跡をはじめ、大浜地区に存する多様な歴史・文化遺産を活用する。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)		フルスト原遺跡周辺に点在するウリカー(降り井戸)、御嶽、津波石などを連絡する紐帯として遺跡の隣接地を購入して、駐車場、広場を整備し案内板を設置する。25年度・26年度は用地の取得をし、27年度に整備を行う。				
(4)成果目標		個性的な文化を育んできた本市の歴史遺産を広く紹介することにより、来訪者に対し本市の有する独特な文化の理解をたすける。併せて郷土愛の向上を図る。				
(5)根拠法令等		文化財保護法				
【事業実績・目標】						
25年度実績		決算額	16,431 千円	24年度実績	決算額	0 千円
☐ 用地の測量登記(委託) ☐ 用地の土地鑑定評価(委託) ☐ 用地の購入						
		26年度目標	予算額	26,748 千円		
		☐ 用地の測量登記(委託) ☐ 用地の土地鑑定評価(委託) ☐ 用地の購入 ☐ 土地に付随するプレハブの撤去(請負)				
区分	評価の説明					
【内部評価】						
・平成25年度は必要用地の内1,432㎡を取得した。次年度は残りの2,179㎡を取得し、27年度に予定する整備に備える。						
【外部評価】						
・遺跡を大事にすることは郷土を深く知り、郷土愛につながる。フルスト原遺跡は進捗状況が遅々としている感じがする。土地購入、案内板等ぜひ早急な整備に力を注いで欲しい。 ・フルスト原遺跡など、大浜地区の遺産の調査、整備、保護は、重要な事業である。石積みをはじめ、ウリカー、御嶽、津波石など、地域遺産を幅広く探索、探訪できるような整備が望まれる。案内板、アクセス道路の整備も進めて欲しい。						

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度		平成26年度(平成25年度事業)		主管課	文化財課
事務事業名		野底リゾート開発地区における古墓群及び埋蔵文化財等発掘調査事業			
施策 体系	主要施策	6 豊かな感性を育む文化の継承と発展〔文化の継承・発展〕			
	施策項目	(2)埋蔵文化財の保存・活用			
【事業概要】					
(1)対象		市民			
(2)目的		野底地内のリゾート開発に伴う野底遺跡(古墓等)の記録保存。平成25年度より3年計画で実施する。			
(3)目的達成のための手段(事業内容)		発掘調査及び資料整理を行う。			
(4)成果目標		発掘調査の完了及び出土資料の整理。			
(5)根拠法令等		文化財保護法			
【事業実績・目標】					
25年度実績		決算額	13,138 千円	24年度実績	決算額 千円
野底リゾート開発地区内の3基(10号墓、11号墓、16号墓)の発掘調査の完了。出土資料の整理を実施。					
		26年度目標	予算額	11,996 千円	
		野底リゾート開発地区内の21号墓の発掘調査の完了及び出土資料の整理。			
区分	評価の説明				
【内部評価】					
・計画通りに3基の墓の発掘調査を完了し、出土資料の整理を実施することができた。発掘調査により、調査対象となった墓は17世紀～19世紀頃の時代が与えられるものと考えられる。平成26年度には残る1基の墓(21号墓)の発掘調査を完了させて出土資料の整理を進め、平成27年度には報告書を刊行する予定である。					
【外部評価】					
・新空港開港と共にこの島にも開発が見受けられる。その中において着実に発掘調査や出土資料の整理をされている。出土資料の整理保存が気になるところである。 ・開発が進む中での遺跡保護は重要で、計画通り進んでおり、貴重な発見もあり、評価したい。遺跡調査への関心を高めるためにも、年度ごとの発掘調査、成果を、博物館で展示したり、新聞紙上などマスコミを活用して、広く周知して欲しい。					

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】						
評価年度		平成26年度(平成25年度事業)		主管課	市史編集課	
事務事業名		石垣市史増刷事業費				
施策 体系	主要施策	6 豊かな感性を育む文化の継承と発展[文化の継承・発展]				
	施策項目	(6) 市史等の編集発行及び関係資料の収集と情報提供				
【事業概要】						
(1) 対象		市民				
(2) 目的		『石垣市史』関連図書の増刷				
(3) 目的達成のための手段(事業内容)		八重山に関する歴史・自然・文化等に関する資(史)料の増刷				
(4) 成果目標		『石垣市史叢書』や『石垣市史研究資料』等の『石垣市史』関連図書を計画的に増刷する。				
(5) 根拠法令等		石垣市史編集委員会規則				
【事業実績・目標】						
25年度実績	決算額	300 千円		24年度実績	決算額	291 千円
『石垣市史叢書12 大波之時各村之形行書・大波寄揚候次第』300冊増刷		『石垣市史巡見 Vol.7 村むら探訪 新川村の移り変わり』300冊増刷				
		26年度目標	予算額	300 千円		
		『石垣市史叢書』の増刷				
区分	評価の説明					
【内部評価】 ・過去に起きた自然災害を知ることは、現代に生きる私たちの防災意識を高めるために重要である。 また、防災対策を図る上でも、貴重な文献資料であり、時宜を得た増刷であった。						
【外部評価】 ・災害は予期しない時に起こるものである。今回の増刷は時宜を得たものであり、過去の災害を知ることにより今後の方向性を探り、災害に対する意識を高め安心・安全が築かれる。 ・復刻版の増刷ということであるが、その資源(写真版)を使ってホームページなどで、いつでも閲覧できるようにすることも、検討する必要がある。 市史資料の保存、活用に一層の工夫をお願いしたい。						

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】						
評価年度		平成26年度(平成25年度事業)		主管課	市史編集課	
事務事業名		尖閣諸島関係資料収集事業(沖振交)				
施策 体系	主要施策	6 豊かな感性を育む文化の継承と発展[文化の継承・発展]				
	施策項目	(6) 市史等の編集発行及び関係資料の収集と情報提供				
【事業概要】						
(1)対象		市民				
(2)目的		尖閣諸島関係資料の収集				
(3)目的達成のための手段(事業内容)		尖閣諸島に関するこれまでの動きを概観できるように、戦前・戦後の新聞等から関連する記事の収集を行う。				
(4)成果目標		尖閣諸島関連の新聞記事を収集・データ化し、刊本として取りまとめる。				
(5)根拠法令等		石垣市史編集委員会規則、沖縄振興特別推進交付金交付要綱				
【事業実績・目標】						
25年度実績		決算額	983 千円	24年度実績	決算額	— 千円
『琉球新報』及び『官報』から明治期における尖閣諸島関連記事115件をテキストデータ化した。				平成25年度新規事業により実績なし。		
				26年度目標	予算額	1,652 千円
				日付や目的等から目的の記事が一覧できるよう記事を収集する。(外部委託)		
区分	評価の説明					
【内部評価】 ・本市の行政区域である尖閣諸島に関する新聞記事及び官報を収集し、データ化したことは今後の調査・研究に役立つものと思われる。						
【外部評価】 ・歴史をたどって官報や新聞等から資料を整理することは生易しいことではない。仮名遣いひとつにしても、読み解釈等難儀さがともなう。しかし、これもまた時宜を得た価値ある事業である。ぜひ続けて欲しい。 ・石垣市でなくてはできない事業であり、期待したい。新聞資料、官報だけでなく、幅広く資料集めをして欲しい。テキスト化と合わせ原文も、WEBなど活用して、インターネットで検索、閲覧できるようにすることが望ましい。						

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度		平成26年度(平成25年度事業)		主管課	八重山博物館
事務事業名		八重山博物館所蔵資料修復及び整理・活用事業(沖振交)			
施策 体系	主要施策	6 豊かな感性を育む文化の継承と発展(文化の継承・発展)			
	施策項目	(7) 博物館事業の充実			
【事業概要】					
(1)対象		市民			
(2)目的		八重山博物館所蔵資料の中から、状態の悪い資料を修復する。修復後は市民の調査・研究に供するよう活用を図る。			
(3)目的達成のための手段(事業内容)		○修復を要する資料の選定 ○修復委託 ○修復資料のデジタル化 ○資料収納用筆筒の製作と棚設置			
(4)成果目標		沖縄振興特別推進交付金を活用して、博物館所蔵資料の中から状態の悪い資料の修復を行う。修復後は、広く調査研究等に供する。また、狭隘な資料収蔵空間を改善するため、資料収納用筆筒や棚等の整備により収蔵環境を整える。			
(5)根拠法令等		博物館法 石垣市立八重山博物館条例 石垣市立八重山博物館条例施行規則			
【事業実績・目標】					
25年度実績		決算額	17,064 千円	24年度実績	決算額 8,328 千円
○喜舎場永珣コレクション新聞資料修復 5,455枚		○古文書修復 250点			
○古文書等の修復 3点		○軸資料修復 2点			
○資料収納用筆筒製作 2点		○所蔵資料データベース化 11,000点			
○資料収納用棚の設置 1点					
		26年度目標	予算額	14,860 千円	
		○喜舎場永珣コレクション新聞資料修復			
		○古文書等修復			
		○歴史資料の修復及びレプリカ製作			
		○資料収納用筆筒製作			
区分	評価の説明				
【内部評価】					
・市民から寄贈・寄託された貴重な文化遺産の整理、修復事業を行った。その資料が膨大であり継続的な事業であると考える。					
【外部評価】					
・博物館には収蔵保管ばかりでなく広く人々に展覧する役割もある。昨年に引き続き広報の仕方等も考慮し事業を続けて欲しい。					
・喜舎場コレクションの資料修復など、地道な事業が良く行われている。データベースの公開などの努力も期待したい。展示会の開催など、博物館事業を広報宣伝して欲しい。					

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】							
評価年度		平成26年度(平成25年度事業)		主管課	学務課		
事務事業名		伊原間中学校校舎新增改築事業					
施策 体系	主要施策	7 新しい時代を展望した教育行政の充実(教育行政の充実)					
	施策項目	(2) 学校及び社会教育の施設・設備の整備充実					
【事業概要】							
(1) 対象		伊原間中学校特別教室棟					
(2) 目的		昭和54年度建設の校舎1棟が構造耐力度上危険建物となっているため、保有面積282㎡の同校舎を改築し、学級数に応じた適正規模の面積68㎡を合わせた350㎡を整備し、安全・安心でゆとりある学習環境を確保する。					
(3) 目的達成のための手段(事業内容)		学校施設の安全・安信を確保し、学習環境の整備充実を図るため環境改善交付金(7.5/10)、国庫負担金(8.5/10)を活用し、施設整備を行う。					
(4) 成果目標		学級数に応じた適正規模面積の校舎を整備することにより、安全・安心でゆとりある学習環境を確保することにより、学習指導上の効果を高めることができる。					
(5) 根拠法令等		学校教育法					
【事業実績・目標】							
25年度実績	決算額	108,491 千円		24年度実績	決算額	53,640 千円	
・監理業務 ・建築工事 ・電気設備工事 ・機械設備工事 ・太陽光設置工事 ・旧校舎解体工事				・実施設計業務 ・地質調査業務 ・工事着手			
				26年度目標	予算額	千円	
				事業該当なし			
区分	評 価 の 説 明						
【内部評価】 ・保有面積282㎡と適正人数に応じた必要面積68㎡合わせて350㎡を整備し、安全・安心でゆとりある学校環境を整えることが出来た。また、太陽光発電設備と蓄電池(各10kw)を整備することにより、災害時の電源確保や環境教育への活用として設置することが出来た。							
【外部評価】 ・伊原間中学校は北部地区の拠点校であり重要な位置にある。災害時の電源確保等も考慮され有効に活用されたい。 ・太陽光発電を導入し、教育への活用などが行えるようになったことは評価できる。実際の設備から、環境への関心を高める努力を一層進めて欲しい。							

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】			
評価年度	平成26年度(平成25年度事業)		主管課 総務課
事務事業名	高等教育機関等誘致可能性調査事業(沖振交)		
施策 体系	主要施策	7 新しい時代を展望した教育行政の充実(教育行政の充実)	
	施策項目	(6) 各教育機関・他行政機関・団体との連携	
【事業概要】			
(1) 対象	市民、大学、市内事業者		
(2) 目的	石垣市への高等教育機関等誘致の可能性を探る。本市の特性と市民ニーズの把握、立地の制度上の条件と計画課題の整理、本市での立地可能性の検討・評価、実現に向けての課題の整理などの調査業務の実施		
(3) 目的達成のための手段(事業内容)	本市における高等教育機関等の誘致の可能性を探るべく調査をコンサルに委託する。教育機関等の規模や学部の種類、立地場所の有無、用地や施設に対する支援策、受け入れに伴う諸問題に対する対策等を含めて検討し、受け入れの可能性を探る。		
(4) 成果目標	本市の特性と市民ニーズの把握、立地の制度上の条件と計画課題の整理、本市での立地可能性の検討・評価、実現に向けての課題の整理		
(5) 根拠法令等	高等教育機関等誘致可能性調査事業検討委員会設置要領		
【事業実績・目標】			
25年度実績	決算額	6,650 千円	24年度実績 決算額 千円
・高等教育機関等誘致に関する市民、市内高校生及び市内事業者に対するニーズ調査(アンケート、ヒアリング)、分析を行った上で、本市に誘致すべき専門分野を検討し、立地可能性分野として位置づけた。また、関係する大学へのアンケートを実施し、誘致可能性についての分析、更に高等教育機関等の立地に関する推進制度等や運営主体等の調査を実施し、報告書を作成した。 ・検討に当たっては、「高等教育機関等誘致可能性調査事業検討委員会」を設置し、専門家及び市内関係者の議論を経て、石垣市内に高等教育機関等を誘致する方向性及び今後の課題についての整理を行った。 ・高質な教育内容・産業との連携・地域貢献などの検討を行うに当たり、継続的な教育や研究の内容、県内外学生の想定等を検討し、設置主体・運営主体の方針を設定し、誘致を促進していく必要がある。		26年度目標 予算額 0 千円	
		平成26年度以降は、①外部ニーズの確認、②有利条件を伸ばす仕組みの構築、③不利条件を克服する仕組みの検討、④概略事業計画の検討(設置と運営の事業スキームの検討(用地・施設・アウトリーチ施設・運営等))について、関係機関等と連携を図る必要がある。 ・文部科学省では、高等教育機関等の新設に対する補助メニューは用意されていないため、次のような方法により誘致を推進することが考えられる。 ①高等教育機関等の運営に関する補助を活用する方法、②公設民営大学とする方法、③産学官連携補助金や農商工連携補助金などを活用する方法	
区分	評価の説明		
【内部評価】			
・高等教育機関等誘致可能性調査により、石垣市における高等教育機関等の立地可能性に向けての課題が整理された。今後は、関係機関等と連携を図り、その課題解決に向け取り組む必要がある。			
【外部評価】			
・目的意識を持たせ自己実現を図るために生徒、事業所にアンケートを実施し方向性を見出し、立地可能性に向けての整理をしたことは高く評価できる。今後は誘致促進に向けて、離島ならではの課題や諸条件を焦点化しながら粘り強く取り組んで欲しい。 ・本州地域の大学誘致だけでなく、琉大など県内大学の学習、研究センターなどの施設の誘致も検討すべきである。就学だけでなく、研究教育施設を設置することで、研究者や学生・院生との日常的な交流もでき、学問分野への視野を広げることできる。 勤労学生も増加しており、講座の開催なども含めた幅広い対応を期待したい。			

外部評価委員による総評

○ 金城 綾子

学校には長い夏休みを満喫した子どもたちの歓声が戻り、2学期の教育活動が滑らかに動きだしたこの時期に、昨年に続き外部評価委員の委嘱を受けた。外部評価委員として貴重な体験をさせていただき、そこで得られたものの見方や考え方は、一人の地域住民としての「視点」や「目線」の重要性をしっかりと私に認識させた。

今回も外部評価担当の方々から、きちんとまとめられた資料と丁寧な接遇に支えられ気持ちよく、有意義に、価値ある仕事をさせてもらったことに対し深く感謝したい。

昨年度の実施事業として26の評価対象抽出事業が選定されたが、その中の20が新規事業であった。にもかかわらず○評価が多かったことに驚き、ここ石垣市教育委員会においては「例年通り」とか「慣例に従って」とは消極的な発想は全くなく、「できない理由を並べ立てる前にできる方法を考える」そんな取り組みが垣間見え、それが着実に実績となり高い評価につながったと言える。

ヒアリングにおける評価は、○は計画通り、△はほぼ計画通り、×はうまくいっていないの三通りである。課長、館長、所長さん方は、自分たちの仕事に責任と誇りをもって理路整然と話され、○の評価の中には私的に◎をあげたい事業も多々あった。また、各課長さん方は現場の様子をしっかりと把握され、地域の現状をしっかりとつかまれている、語り出す内容の背後にある各課や各係の思いやご苦労などにも「聴く」ことにつとめたが、時間制限もあり申し訳なく思った。

教育委員会における学社融合は以前から言われているが、石教委においては各課や各部所はそれなりに成果を挙げているので、今後はお互いに連携・連動していく体制づくりを構築されたい。

また、教育委員会における責任と役割についてだが、生きる力をはぐくむ学校教育の推進と生涯学習の基礎づくりとしての教育環境づくりに大別するならば、直接的・間接的に子どもたちと関わる所と支える所との役割分担（指導・管理・運営・協力等）を明確にして有機的連携を図るならば、更なる向上が期待できると考える。

一つ一つの事業は予算が伴ってこそ、その効果が発揮できる。実効性を伴う事業のために、時には起爆剤的な発展的事業として、時には確かな学力の礎的な事業としての模索と調和のための努力がひしひしと伝わり、今後ともその時代に即応した教育体制の実現のためにも、主体的かつ積極的な教育行政の展開を図っていただきたい。

南の島新石垣空港開港により、多くの人々が石垣島を訪れるようになった。芸術文化や地域色豊かな行事や雄大な自然や歴史等、魅力いっぱいな我が島である。「行きたくなる学校 帰りたいくなる家庭 住みたいくなる地域」のために、地域住民として勢いのある地域の未来づくりのために微力ながら携わりたい。

○ 宮地 竹史

昨年に続いて、外部評価委員を依頼され、お引き受けしました。昨年、教育委員会の仕事の多様さ、大変さが良くわかり、もう少し知ってみたいという気持ちもあつてのことでした。

教育委員会の仕事は、学校の児童生徒や市民と直接接していることもあり、相手の生の声を聞くことで、施策されることが多く、デスクワークでは処理できない面があります。今年は、26件についてヒアリングを受けました。全体としては昨年同様に、本当に良く頑張っているなど感心させられました。しかし、いくつかは目的に十分沿っていないのではないかと、市民の声に responding しているのかと疑問をもつものもありました。

年度計画になっているものは、計画に沿って仕事を熟すだけになっていたり、予算を消化するために実施したといったものもありました。

IT機器の導入や、文書の電子化などは、手段としては良いが、何のためにしているのか、目的は果たされているのか、考えて欲しいと思います。新しい機器や整理された資料、史料が学校や教育委員会の中で眠っているようでは意味がありません。

児童生徒に、市民の皆さんに、いつでも便利に利用できるように、使いこなせるようにする工夫を、さらに考えて欲しいと思います。仕事自体は、良い内容ですが、活用してこそ、市民に喜ばれる良い仕事になってゆくと思います。

また、ヒアリングを聞いていると、十分に理解をされないで、説明をされていることがありました。仕事が多くて大変とは思いますが、部下が一生懸命にされている仕事を日常的に把握できていないのは残念ですし、仕事のやりがいを見失わせるのではないかと心配になりました。

こんないい仕事をしているのですよと、自信をもって報告できるようになって欲しいです。一方で、児童生徒や市民の皆さんと接しながら、いろいろと工夫もされて、成果をあげている仕事もありました。ブックスタートなどは、苦勞をしているが、楽しく頑張っている職員の姿が見えるような報告で、聞いていて嬉しくなりました。

また、なかなか表には見えない遺跡や歴史資料などの保護なども、地道に良く行われていると感じました。都市化、観光開発が進む中でよく頑張っておられると思います。

昨年、石垣島そのものが生きた博物館であり、図書館であり、その活用を希望しましたが、オオゴマダラなどの事業などはその一つだと思います。島内で十分展開できることなので、さらに工夫して全校に広がることを期待しています。

また昨年、市民や観光客に史跡や歴史遺産、自然観察などの場所などの案内板の設置などを希望しましたが、進展があつたとは思えず残念でした。観光、文化の島としては、ぜひ改善をお願いしたいです。

今年も、委員をお引き受けしたことで、教育委員会の仕事を他の市民の方より、少し深く知ることができました。

石垣島の幼児からお年寄りまで、過去から未来までと、多種多様で幅広く層の厚い仕事だと思いました。成果がすぐに見えてこない面もありますが、石垣島の教育文化の発展に貢献する素晴らしい仕事です。楽しく頑張ってください。

○石垣市教育事務点検評価実施要綱（平成21年1月30日教育委員会告示第1号）

（趣旨）

第1条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第27条に規定する教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等(以下「教育事務点検評価」という。)を行うことについて必要な事項を定めるものとする。

（教育事務点検評価委員会）

第2条 教育事務点検評価は、教育委員会を主体とし、点検及び評価の業務を的確かつ円滑に執行するため、教育事務点検評価委員会(以下「点検評価委員会」という。)を置く。

2 点検評価委員会は、教育部長、石垣市教育委員会事務局組織規則(平成15年石垣市教育委員会規則第10号)第5条に定める事務局の課の長、博物館長、学校給食センター所長及び図書館長をもって構成し、委員長に教育部長、副委員長に総務課長をもって充てる。

3 委員長は、点検評価委員会を代表し、その事務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その事務を代理する。

5 点検評価委員会の運営その他必要な事項は、委員長が別に定める。

（点検及び評価する事務）

第3条 教育事務点検評価で点検及び評価する事務は、教育委員会の権限に属する事務(教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務を含む。)で、前年度に執行されたもののうちから点検評価委員会が抽出した事務とする。

（点検及び評価の時期）

第4条 教育事務点検評価は、前年度決算後速やかに実施するものとする。

（点検及び評価の方法）

第5条 教育事務点検評価は、第3条の規定により抽出した事務を、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める組織が行うものとする。

(1) 内部評価 点検評価委員会

(2) 外部評価 教育事務点検評価のために置かれる外部評価委員会

（外部評価委員会の設置）

第6条 教育委員会は、事務の点検評価に関し、その客観性の確保を図るため、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するものとする。

2 前項の学識経験を有する者の知見を活用するため、外部評価委員会を設置する。

3 外部評価委員会は、2人の委員で組織する。

4 外部評価委員は、次に定める者の中から教育委員会が委嘱する。

(1) 学識経験者

(2) その他教育委員会が必要と認めた者

5 外部評価委員の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。

6 外部評価委員の報酬は、石垣市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例(昭和47年石垣市条例第70号)別表に掲げる法又は条例による審議会等の委員に委嘱された者の報酬額に準じるものとする。

（報告書の作成）

第7条 教育事務点検評価の結果に関する報告書(以下「報告書」という。)は、点検評価委員会が作成し、前条に規定する外部評価委員会の意見を付して、教育長が教育委員会に付議するものとする。

（報告書の提出及び公表）

第8条 報告書の議会への提出は、12月定例会に行うものとする。

2 報告書は、前項の提出を行った後、速やかに石垣市のインターネットホームページで公表するものとする。

（結果の活用）

第9条 教育事務点検評価の結果は、教育行政の計画立案、事務の改善、効率化等に活用するものとする。

（その他）

第10条 この要綱に定めるもののほか、教育事務点検評価の業務に必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この要綱は、公布の日から施行する。

附 則(平成22年教委告示第10号)

この要綱は、公布の日から施行する。

附 則(平成25年教委告示第3号)

この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

附 則(平成26年教委告示第18号)

この要綱は、公布の日から施行する。

○ 石垣市教育委員会組織機構図

※()は臨任、嘱託、賃金を除くH26. 6. 1現在の市費職員数



平成 26 年度
石垣市教育事務点検評価報告書
(平成 25 年度事業対象)

発行 平成 26 年 10 月
石垣市教育委員会 総務課
〒907-0012 石垣市美崎町 1 6 - 6
TEL 0980 (87) 5077 FAX 0980 (82) 0294
